

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 29' 12.63" 136° 14' 43.66"	橋梁ID
雨之森橋 (フリガナ)アメノモリハシ	雨森高野線	滋賀県長浜市高月町雨森				35.48684,136.24546
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2021.10.13	河川:高時川	有	一般道	その他	なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	径間1:写真12、径間3:写真2,3、径間4:写真4		
	横桁	Ⅰ				
	床版	Ⅱ	その他(不法占用)	径間1:写真5、径間6:写真6		
下部構造	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	径間6:写真9			
支承部	Ⅲ	腐食、破断、防食劣化、鉄筋露出、 うき、支承部の機能障害、欠損、沈下	径間2:写真10-17,19-21、径間4:写真18,22-24、径間5:写真25、径間6:写真26			
その他	Ⅱ	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、 路面の凹凸、変形・欠損	径間1:写真31,32,35,36、径間2:写真37,38,40,41,42、径間3:写真33,34、径間5:写真			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	P1橋脚の支承部の損傷は進行し、沈下を伴い橋の機能に影響が生じる可能性があり早期に措置を講ずる必要があるため「健全度Ⅲ」とした。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1969年	181m	4.2m
橋梁形式		
6径間PC橋_ポステンT桁、逆T式橋台2基、T型橋脚5基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。


○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真1 (径間1) 主桁 Mg02</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> 	<p>写真2 (径間3) 主桁 Mg01</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> <p>※写真3の遠景</p> 
上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真3 (径間3) 主桁 Mg01</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> <p>※写真2の近景</p> 	<p>写真4 (径間4) 主桁 Mg01</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真5 (径間1) 床版 Ds01</p> <p>その他-1-e (不法占用)</p> 	<p>写真6 (径間6) 床版 Ds01</p> <p>その他-1-e (不法占用)</p> 
下部構造【判定区分: Ⅱ】	下部構造【判定区分: Ⅱ】
<p>写真7 (径間2) 梁部 Pb02</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> <p>※写真8の遠景</p> 	<p>写真9 (径間2) 梁部 Pb02</p> <p>剥離・鉄筋露出-e</p> <p>※写真8の遠景</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造【判定区分： Ⅱ 】	支承部【判定区分： Ⅲ 】
<p>写真9 (径間6) 床版 Ds01</p> <p>その他-1-e (不法占用)</p> 	<p>写真10 (径間2) 支承本体0101 支承部の機能障害-e 沈下・移動・傾斜-e</p> <p><Ⅱの損傷> 支承本体0101 腐食-e 防食機能の劣化1-e</p> 
支承部【判定区分： Ⅲ 】	支承部【判定区分： Ⅲ 】
<p>写真11 (径間2) 支承本体0101 支承部の機能障害-e 沈下・移動・傾斜-e</p> <p>アンカーボルト0101 腐食-e 防食機能の劣化-e</p> <p><Ⅱの損傷> 支承本体0101 腐食-e 防食機能の劣化1-e</p> 	<p>写真12 (径間2) アンカーボルト0101 腐食-e 破断-e 防食機能の劣化-e</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。




○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分： Ⅲ 】	支承部【判定区分： Ⅲ 】
<p>写真13 (径間2) 支承本体0201 腐食-e 防食機能の劣化1-e 支承部の機能障害-e 沈下・移動・傾斜-e</p> 	<p>写真14 (径間2) 支承本体0201 支承部の機能障害-e 沈下・移動・傾斜-e</p> <p>アンカーボルト0101 腐食-e 破断-e 防食機能の劣化-e</p> <p><Ⅱの損傷> 支承本体0101 腐食-e 防食機能の劣化1-e</p> 
支承部【判定区分： Ⅲ 】	支承部【判定区分： Ⅲ 】
<p>写真15 (径間2) アンカーボルト0101 腐食-e 破断-e 防食機能の劣化-e</p> 	<p>写真16 (径間2) 支承本体0201 支承部の機能障害-e 沈下・移動・傾斜-e</p> <p>アンカーボルト0101 腐食-e 破断-e 防食機能の劣化-e</p> <p><Ⅱの損傷> 支承本体0101 腐食-e 防食機能の劣化1-e</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分： Ⅲ 】	支承部【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真17 (径間2) 沓座モルタル Bm0101 変形・欠損-e</p> 	<p>写真18 (径間4) 沓座モルタル Bm0101 変形・欠損-e</p> 
支承部【判定区分： Ⅱ 】	支承部【判定区分： Ⅲ 】
<p>写真19 (径間1) 沓座モルタル Bm0202 うき-e</p> 	<p>写真20 (径間2) 沓座モルタル Bm0201 変形・欠損-e 剥離・鉄筋露出-e</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。





○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分： Ⅲ 】	支承部【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真21 (径間2) 沓座モルタル Bm0201 変形・欠損-e 剥離・鉄筋露出-e</p> 	<p>写真22 (径間4) 沓座モルタル Bm0201 うき-e</p> 
支承部【判定区分： Ⅱ 】	支承部【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真23 (径間4) 沓座モルタル Bm0102 変形・欠損-e</p> 	<p>写真24 (径間4) 沓座モルタル Bm0202 変形・欠損-e</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分： Ⅱ 】	支承部【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真25 (径間5) 沓座モルタル Bm0101 変形・欠損-e</p> 	<p>写真26 (径間6) 沓座モルタル Bm0101 変形・欠損-c</p> 
支承部【判定区分： Ⅱ 】	支承部【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真27 (径間6) 沓座モルタル Bm0201 変形・欠損-c 剥離・鉄筋露出-e</p> 	<p>写真28 (径間6) 沓座モルタル Bm0202 変形・欠損-c</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。


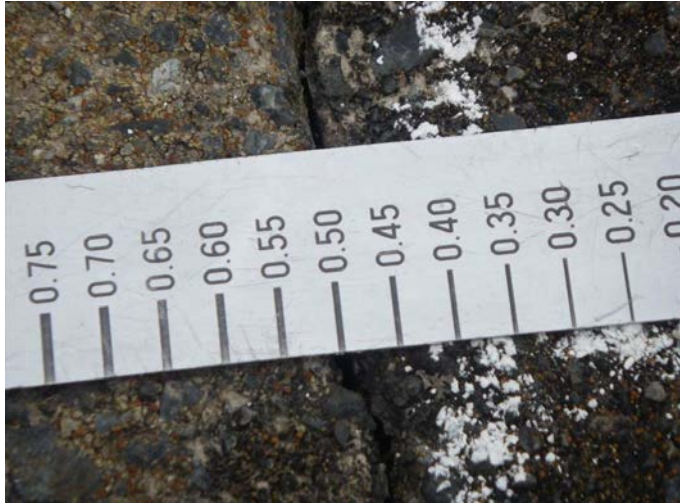


○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他【判定区分: Ⅱ】	その他【判定区分: Ⅱ】
<p>写真29 (径間6) 舗装 Pm01</p> <p>路面の凹凸-e</p> <p>※写真30の遠景</p> 	<p>写真30 (径間6) 舗装 Pm01</p> <p>路面の凹凸-e</p> <p>※写真29の近景</p> 
その他【判定区分: Ⅱ】	その他【判定区分: Ⅱ】
<p>写真31 (径間1) 防護柵 Gf01</p> <p>ひびわれ-d</p> <p>※写真32の遠景</p> 	<p>写真32 (径間1) 防護柵 Gf01</p> <p>ひびわれ-d</p> <p>※写真31の近景</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他【判定区分: Ⅱ】	その他【判定区分: Ⅱ】
<p>写真33 (径間3) 防護柵 Gf01</p> <p>ひびわれ-d</p> <p>※写真34の遠景</p> 	<p>写真34 (径間3) 防護柵 Gf01</p> <p>ひびわれ-d</p> <p>※写真33の近景</p> 
その他【判定区分: Ⅱ】	その他【判定区分: Ⅱ】
<p>写真35 (径間1) 防護柵 Gf01</p> <p>変形・欠損-c</p> <p>※写真36の遠景</p> 	<p>写真36 (径間1) 防護柵 Gf01</p> <p>変形・欠損-c</p> <p>※写真35の近景</p> 



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

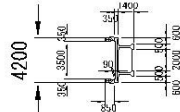
その他【判定区分： Ⅱ 】	その他【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真37 (径間2) 防護柵 Gf01</p> <p>剥離・鉄筋露出-e 変形・欠損-c</p> <p>※写真38の遠景</p> 	<p>写真38 (径間2) 防護柵 Gf01</p> <p>剥離・鉄筋露出-e 変形・欠損-c</p> <p>※写真37の近景</p> 
その他【判定区分： Ⅱ 】	その他【判定区分： Ⅱ 】
<p>写真39 (径間5) 防護柵 Gf01</p> <p>うき-e</p> 	<p>写真40 (径間2) 防護柵 Gf01</p> <p>その他-e (隙間)</p> <p>※写真41の遠景</p> 

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他【判定区分： Ⅱ 】	その他【判定区分： Ⅱ 】
<div data-bbox="145 359 324 619"><p>写真41 (径間2) 防護柵 Gf01</p><p>その他-e (隙間)</p><p>※写真40の近景</p></div> <div data-bbox="387 276 1064 778"></div>	<div data-bbox="1153 359 1310 518"><p>写真42 (径間2) 伸縮装置 Ej02</p><p>変形・欠損-c</p></div> <div data-bbox="1377 276 2054 778"></div>
【判定区分： 】	【判定区分： 】

定期点検記録様式(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果										起点側		緯度 35° 29' 12.628"		終点側		緯度 35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684, 136.24546													
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線						滋賀県		橋梁コード		BR0-252034-01036															
所 在 地		自		滋賀県長浜市高月町雨森				距 離 標		自				管 轄		事務所・支所		調書更新年月日		2022年3月7日													
		至		滋賀県長浜市高月町雨森						至						-		現地確認年月日		2021年10月13日													
供用開始日		1969年		橋長		180.8m		活荷重・等級		TL-14		2等橋		等橋		適用示方書		昭和39年 道路橋示方書(※)															
上部構造形式		P C 橋_ポステンT桁6連				幅員		全 幅 員		4.20m		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯		交通条件		調 査 年		台	
								有効幅員		3.50m		0.35m				3.50m		1						0.35m									
下部構造形式		逆T式橋台2基, T型橋脚5基				備考		①前回点検実施年度〔健全度〕: 2018(H30)年度〔Ⅱ〕(道路橋定期点検要領(H26.6)) ②点検方法: 梯子 ③主な付属物: なし ④路下条件: 高時川 ⑤代替路: あり ⑥添架物: なし ⑦補修歴・耐震補強: なし ・改築/拡幅歴: なし ・補修歴: あり ⑧第三者影響: なし ⑨凍結防止剤散布路線: 対象外																		大型混入率		%					
基礎形式		オープンケーソン基礎						荷 重 制 限		2 t																							
総合検査結果		健全度 (橋単位)		Ⅲ		定期点検者 第一設計監理株式会社 今井 浩善																											
		【橋梁の特徴】 ・本橋の供用歴は52年。滋賀県長浜市高月町雨森の平地部に位置し、高時川を跨ぐ6径間の直橋である。通過交通量は少ない。桁下高はh=4.60mで水量は多い。 ・上部構造形式はPCポステンT桁で、下部構造形式は逆T式橋台及びT型橋脚である。供用開始は1969年となっているが、当橋梁は戦前からあり、改築されている可能性がある。そのためであるかは不明であるが、各支承部は橋座と桁との間隔は一定でなく、沓座モルタルの有無、形状の違い等があるのが特徴である。橋脚は2000年頃に橋座拡幅をしている。																															
		【損傷の総合評価】 前回点検時の健全度・・・橋全体: Ⅱ (主桁: Ⅱ、横桁: Ⅰ、床版: Ⅰ、下部構造: Ⅰ、支承部: Ⅰ、その他: Ⅱ) ・橋体工: ・主桁下面に鉄筋露出、シース管の露出が複数箇所見られるが、腐食は比較的軽微である。主桁、横桁、定着部は、支点上の上側面に斜め方向のひびわれが、数本発生しているが目立った進行は見られない。損傷範囲が大きい所については予防保全措置を要する。横桁、床版、PC定着部に生じた損傷には目立った進行は見られない。 ・橋脚梁下面に鉄筋露出が複数見られる。伸縮装置の損傷より橋面上からの雨水が回り込み、鉄筋の腐食進行が見られるため、予防保全の観点から速やかに雨水の回り込みを止めるとともに損傷個所の補修を行う必要がある。 ・支承部は全体的に鋼製支承とアンカーボルトが腐食し、沓座モルタルではひびわれ、うき、欠損等の損傷が進行している。特に第2径間のP1橋脚上の支承部は、沓座モルタルの鉄筋の腐食による著しい欠損により、支承機能障害(移動、沈下)、アンカーボルトが破断しているため速やかに補修する必要がある。(沈下により路面側に生じた段差はAs舗装により補修済)支承部の沓座モルタルの形状は各所異なっているが、先の損傷個所と同じ形状の第6径間P5橋脚の支承部では沓座モルタルに著しい腐食を伴う鉄筋露出による欠損が生じているため同様の損傷に進行する可能性が考えられる。																															
		・橋面工: ・伸縮装置の著しい変形・欠損が見られる。遊間の段差に応急的な補修跡が見られるが、漏水への対策はされていない。桁下部材の損傷進行要因は橋面からの漏水によるためと考えられるため状況に応じて補修を行う必要がある。 ・コンクリート防護柵にひびわれ、支柱外側に剥離・鉄筋露出が多数見られる。現行規格に合っていないため、更新の検討を含め補修する必要がある。																															
		【健全度の診断】 ・P1橋脚の支承部の損傷は進行し、沈下を伴い橋の機能に影響が生じる可能性があり早期に措置を講ずる必要があるため「健全度Ⅲ」とした。																															

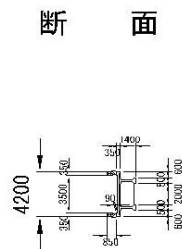
35. 48684, 136. 24546

BR0-252034-01036

○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない個所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

35. 48684, 136. 24546

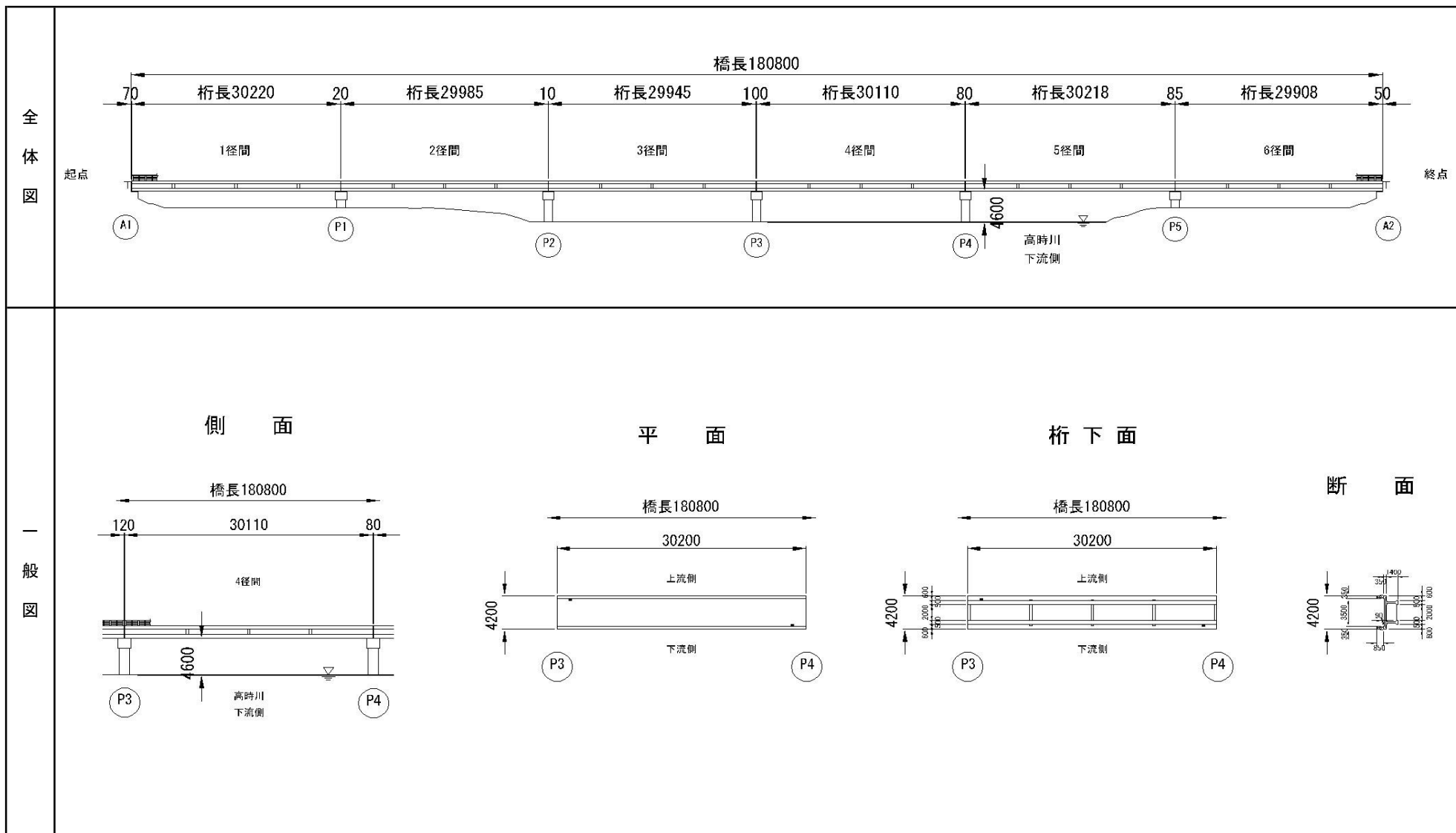
BR0-252034-01036

BR0-252034-01036

○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない個所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式(その2) 径間別一般図	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35. 48684, 136. 24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない箇所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	1	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	2	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	3	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	4	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	5	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	6	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 A1よりA2を望む			メモ(必要に応じて)	橋台 A1橋台			
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	7	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	8	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	9	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ(必要に応じて)	橋脚 P1橋脚			メモ(必要に応じて)	支承部 A1橋台側			メモ(必要に応じて)	防護柵 左側		
												
	写真番号	10	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	11	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	12	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ(必要に応じて)	防護柵 右側			メモ(必要に応じて)	伸縮装置 起点側			メモ(必要に応じて)	伸縮装置 終点側		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	13	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	14	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	15	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ(必要に応じて)	橋名板 河川名:高時川			メモ(必要に応じて)	橋名板 橋梁名:雨之森橋			メモ(必要に応じて)	防錆処置後 損傷写真17,18と同じ箇所		
												
	写真番号	16	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	17	撮影年月日	2021/10/13	写真番号		撮影年月日	
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号			
メモ(必要に応じて)	舗装 段差補修工			メモ(必要に応じて)	伸縮装置02 目地の脱落補修工			メモ(必要に応じて)				
												






定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	18	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	19	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	20	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	21	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	22	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	23	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
	メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 P1よりP2を望む			メモ(必要に応じて)	橋脚 P2橋脚		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	24	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	25	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	26	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
	メモ(必要に応じて)	支承部 P1橋脚側			メモ(必要に応じて)	防護柵 左側			メモ(必要に応じて)	防護柵 右側		
												
	写真番号	27	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	28	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	29	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
	メモ(必要に応じて)	伸縮装置 終点側			メモ(必要に応じて)	防錆処理後 損傷写真102と同じ箇所			メモ(必要に応じて)	舗装 段差補修工		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	30	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	31	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	32	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	3			径間番号	3			径間番号	3		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	33	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	34	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	35	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	3			径間番号	3			径間番号	3		
	メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 P2よりP3を望む			メモ(必要に応じて)	橋脚 P3橋脚		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	36	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	37	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	38	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	3			径間番号	3			径間番号	3		
	メモ(必要に応じて)	支承部 P2橋脚側			メモ(必要に応じて)	防護柵 左側			メモ(必要に応じて)	防護柵 右側		
												
	写真番号	39	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	40	撮影年月日	2021/10/13	写真番号		撮影年月日	
	径間番号	3			径間番号	3			径間番号			
	メモ(必要に応じて)	伸縮装置 終点側			メモ(必要に応じて)	防錆処理後 損傷写真160, 161と同じ箇所			メモ(必要に応じて)			
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	41	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	42	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	43	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	4			径間番号	4			径間番号	4		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	44	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	45	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	46	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	4			径間番号	4			径間番号	4		
	メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 P3よりP4を望む			メモ(必要に応じて)	橋脚 P4橋脚		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	47	撮影年月日	2021/10/12	写真番号	48	撮影年月日	2021/10/11	写真番号	49	撮影年月日	2021/10/11
	径間番号	4			径間番号	4			径間番号	4		
	メモ(必要に応じて)	支承部 P3橋脚側			メモ(必要に応じて)	防護柵 左側			メモ(必要に応じて)	防護柵 右側		
												
	写真番号	50	撮影年月日	2021/10/11	写真番号	51	撮影年月日	2021/10/12	写真番号		撮影年月日	
	径間番号	4			径間番号	4			径間番号			
	メモ(必要に応じて)	伸縮装置 終点側			メモ(必要に応じて)	防錆処理後 損傷写真224, 225と同じ箇所			メモ(必要に応じて)			
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	52	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	53	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	54	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	5			径間番号	5			径間番号	5		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	55	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	56	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	57	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	5			径間番号	5			径間番号	5		
	メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 P4よりP5を望む			メモ(必要に応じて)	橋脚 P5橋脚		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	64	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	65	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	66	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	6			径間番号	6			径間番号	6		
	メモ(必要に応じて)	正面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	側面 右側面(下流より)			メモ(必要に応じて)	側面 左側面(上流より)		
												
	写真番号	67	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	68	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	69	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	6			径間番号	6			径間番号	6		
	メモ(必要に応じて)	橋面 起点より終点を望む			メモ(必要に応じて)	桁下 P5よりA2を望む			メモ(必要に応じて)	橋台 A2橋台		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		


フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

現 地 状 況 写 真	写真番号	70	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	71	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	72	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	6			径間番号	6			径間番号	6		
	メモ(必要に応じて)	支承部 P5橋脚側			メモ(必要に応じて)	防護柵 左側			メモ(必要に応じて)	防護柵 右側		
												
	写真番号	73	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	74	撮影年月日	2021/10/13	写真番号	75	撮影年月日	2021/10/13
	径間番号	6			径間番号	6			径間番号	6		
	メモ(必要に応じて)	伸縮装置 終点側			メモ(必要に応じて)	防錆処理後 損傷写真392と同じ箇所			メモ(必要に応じて)	植生撤去済		
												

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684, 136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

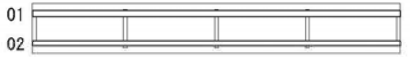

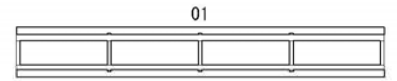
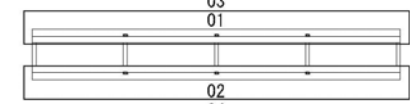
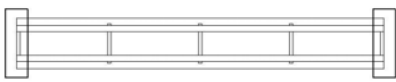
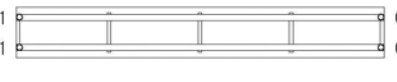
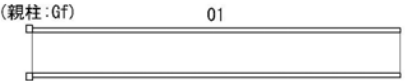
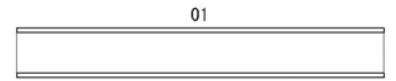

現
地
状
況
写
真

写真番号	76	撮影年月日	2021/10/13	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号	6			径間番号				径間番号			
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 段差補修			メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)			
											
写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号				径間番号				径間番号			
メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)			

定期点検記録様式(その4) 部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 29′ 12.628″	終点側	緯度	35° 29′ 11.018″	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14′ 43.660″		経度	136° 14′ 50.579″		

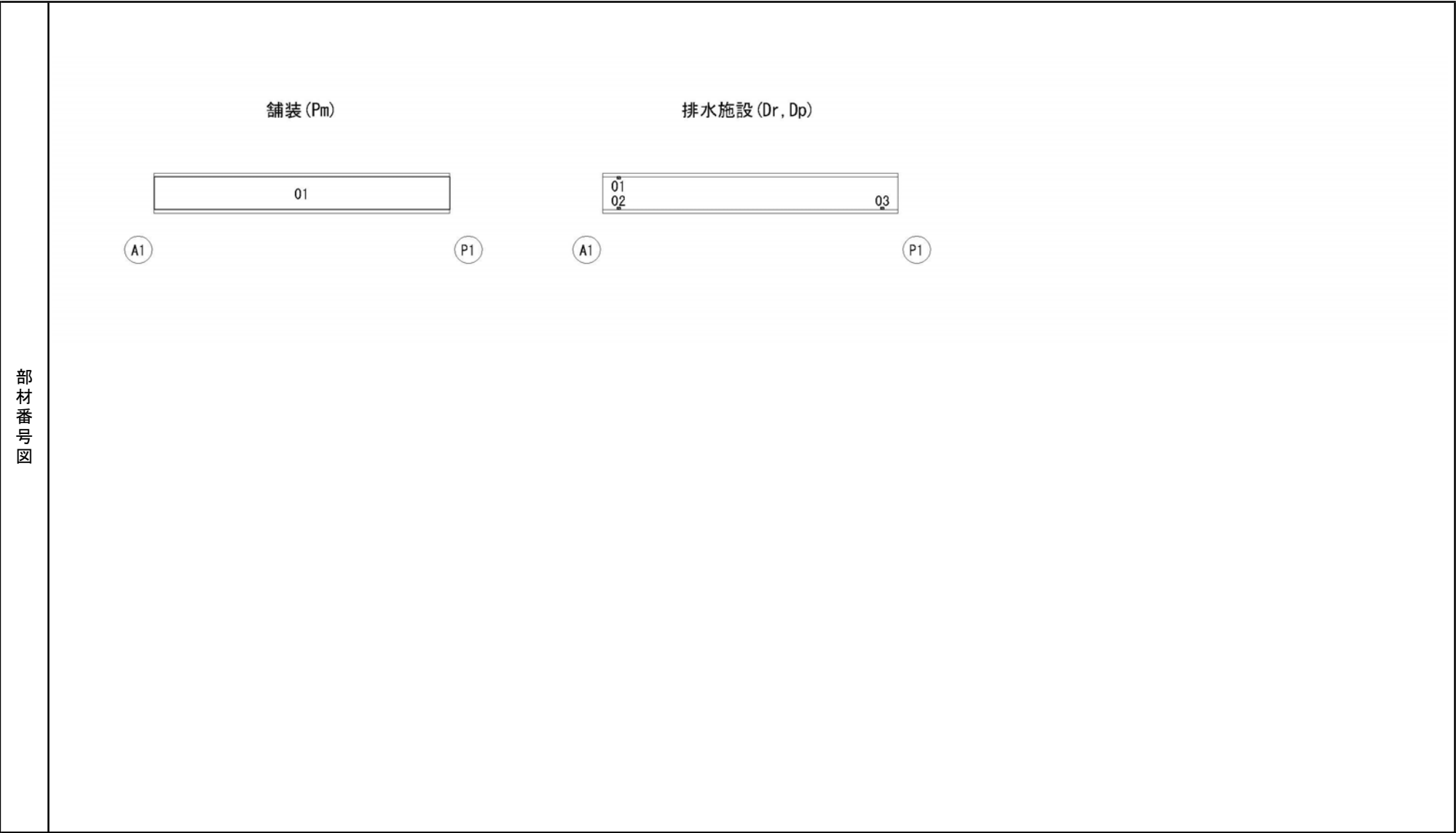
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

部材番号図

<p>主桁 (Mg)</p> 	<p>横桁 (Cr)</p> 	<p>床版 (Ds)</p> 
<p>PC定着部 (Cn)</p> 	<p>橋台 (Ap, Ac)、橋脚 (Pw, Pb)</p> 	<p>支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm)</p> 
<p>防護柵 (Gf)</p> 	<p>地覆 (Fg)</p> 	<p>伸縮装置 (エラストイト) (Ej)</p> 

定期点検記録様式(その4) 部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 29′ 12.628″	終点側	緯度	35° 29′ 11.018″	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14′ 43.660″		経度	136° 14′ 50.579″		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



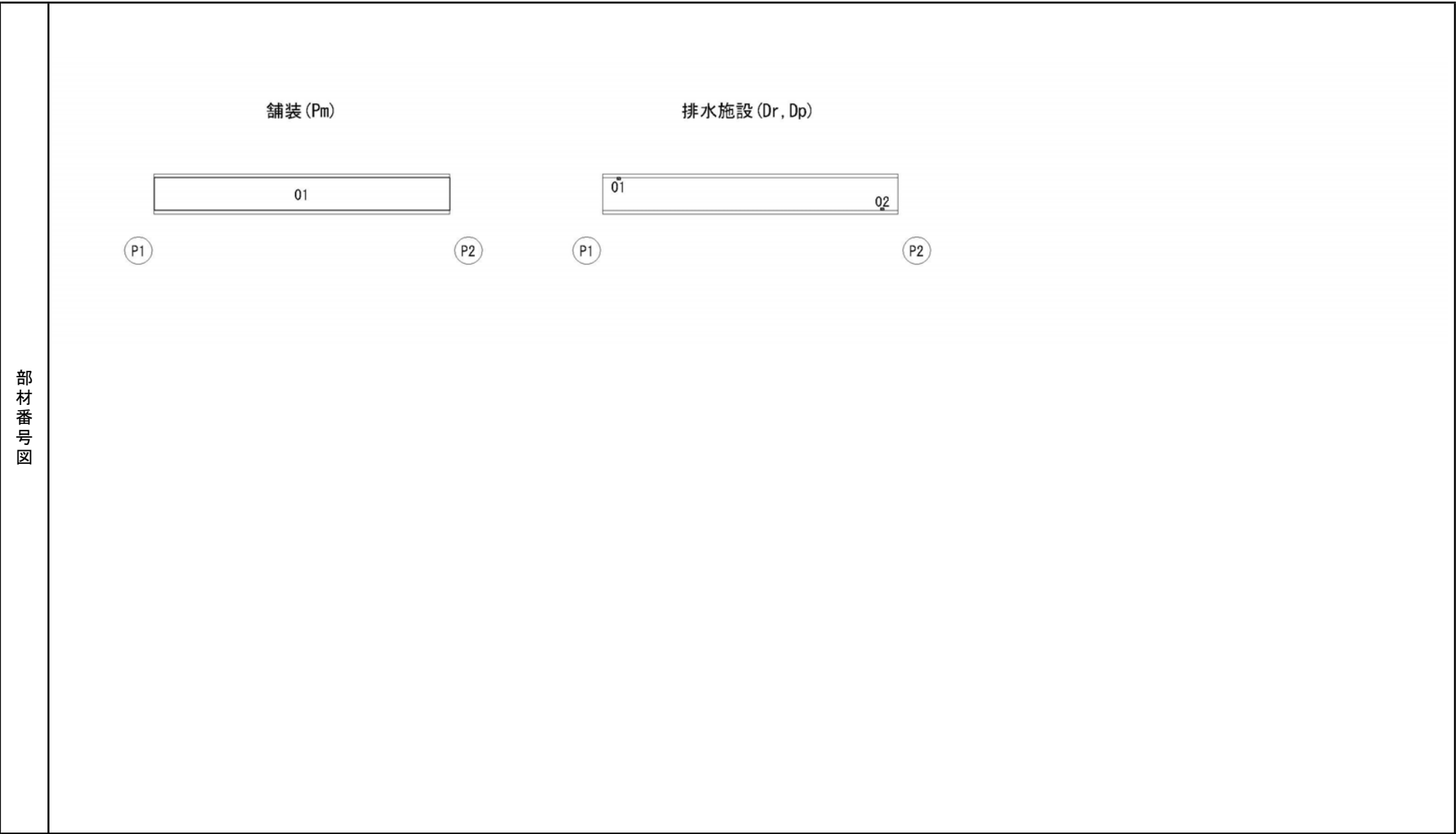
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

部材番号図

The diagram illustrates the components of a bridge structure, categorized by their function and connection points (P1 and P2).

- 主桁 (Mg):** Main Girder. Components are labeled 01 and 02. Connection points are P1 and P2.
- 横桁 (Cr):** Cross Girder. Components are labeled 01, 02, 03, 04, and 05. Connection points are P1 and P2.
- 床版 (Ds):** Deck. Component is labeled 01. Connection points are P1 and P2.
- PC定着部 (Cn):** PC Fixing Part. Components are labeled 01, 02, 03, and 04. Connection points are P1 and P2.
- 橋脚 (Pw, Pb):** Bridge Foot. Components are labeled 01 and 02. Connection points are P1 and P2.
- 支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm):** Support Body and Abutment Mortar. Components are labeled 0101, 0102, 0201, and 0202. Connection points are P1 and P2.
- 防護柵 (Gf):** Protection Fence. Components are labeled 01 and 02. Connection points are P1 and P2.
- 地覆 (Fg):** Ground Cover. Components are labeled 01 and 02. Connection points are P1 and P2.
- 伸縮装置 (エラストイト) (Ej):** Expansion Device. Components are labeled 01 and 02. Connection points are P1 and P2.

定期点検記録様式(その4) 部材番号図			径 間 番 号		2		起 点 側		緯 度		35° 29′ 12.628″		終 点 側		緯 度		35° 29′ 11.018″		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
									経 度		136° 14′ 43.660″				経 度		136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036						



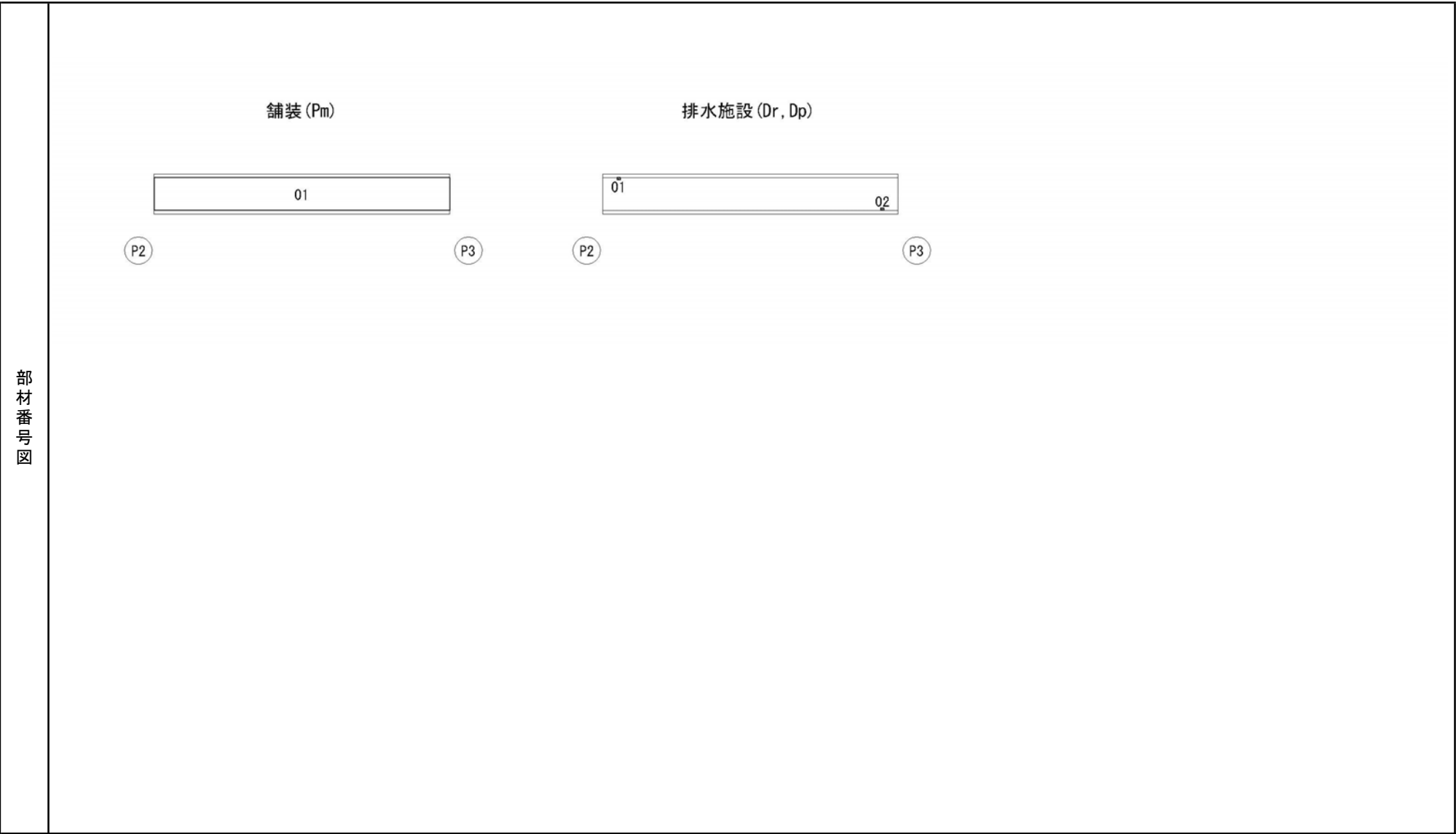
定期点検記録様式(その4) 部材番号図	径 間 番 号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------





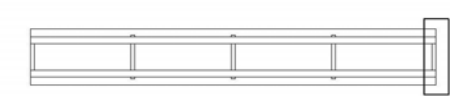

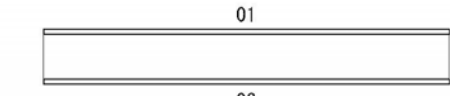
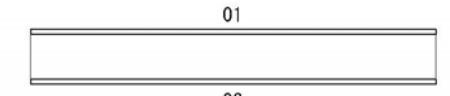

部
材
番
号
図

<p>主桁 (Mg)</p>	<p>横桁 (Cr)</p>	<p>床版 (Ds)</p>
<p>PC定着部 (Cn)</p>	<p>橋脚 (Pw, Pb)</p>	<p>支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm)</p>
<p>防護柵 (Gf)</p>	<p>地覆 (Fg)</p>	<p>伸縮装置 (Ej)</p>

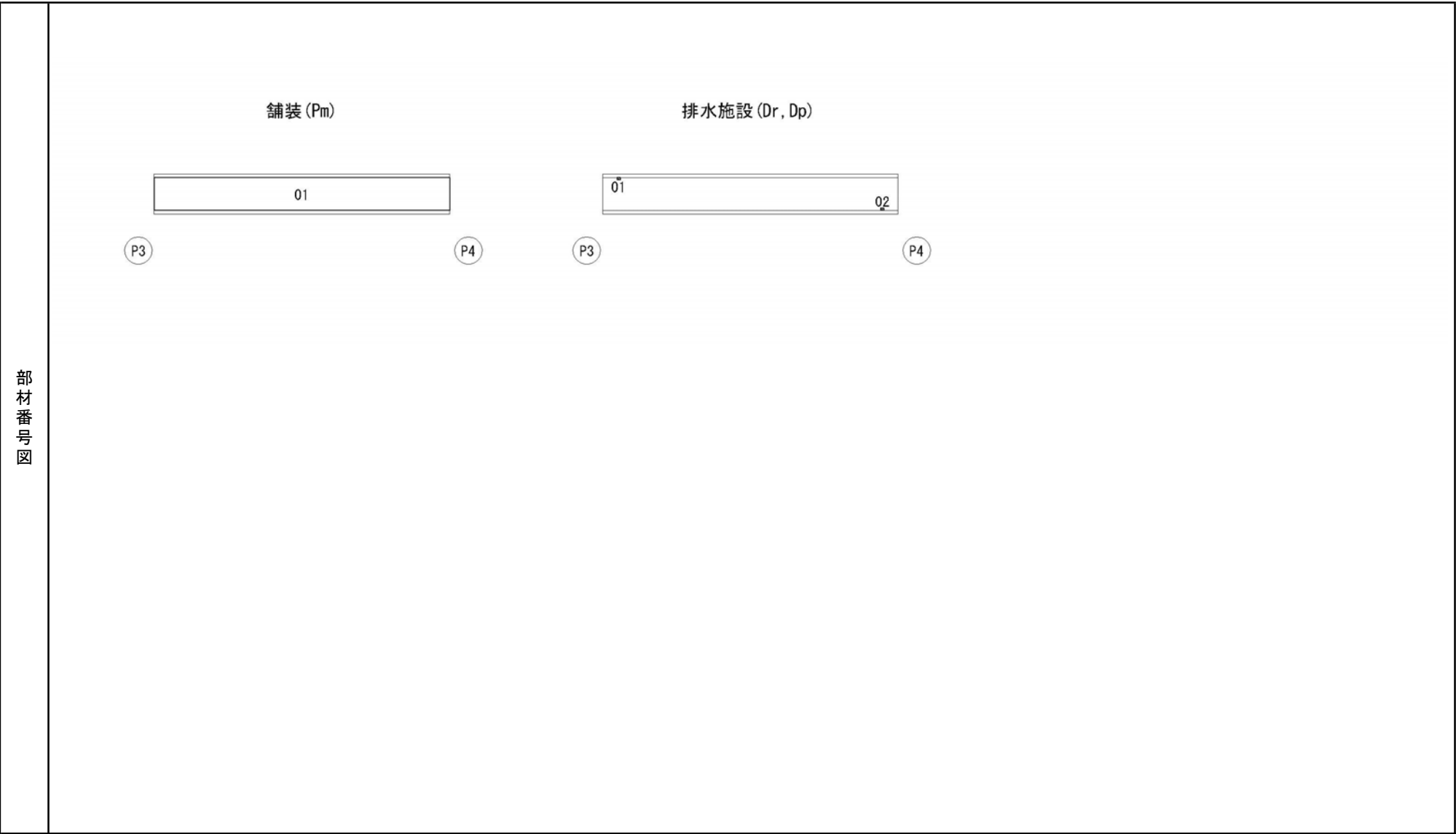
定期点検記録様式(その4) 部材番号図		径 間 番 号		3		起点側		緯度 35° 29′ 12.628″		終点側		緯度 35° 29′ 11.018″		橋梁ID		35.48684,136.24546	
								経度 136° 14′ 43.660″				経度 136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管理者		長 浜 市		橋梁コード		BR0-252034-01036			






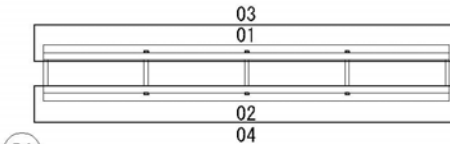
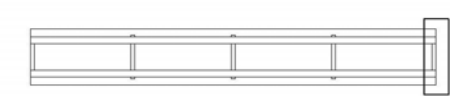
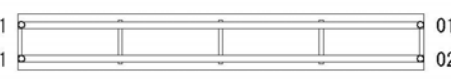
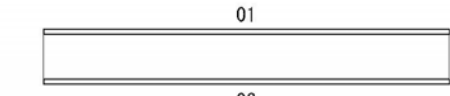
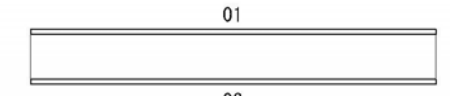

定期点検記録様式(その4) 部材番号図			径間番号	4	起点側		緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
フリガナ 橋梁名		アメモリハシ 雨之森橋		路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	経度		経度	136° 14' 50.579"		

部材番号図	主桁 (Mg)	横桁 (Cr)	床版 (Ds)
			
	PC定着部 (Cn)	橋脚 (Pw, Pb)	支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm)
			
	防護柵 (Gf)	地覆 (Fg)	伸縮装置 (エラストイト) (Ej)
			

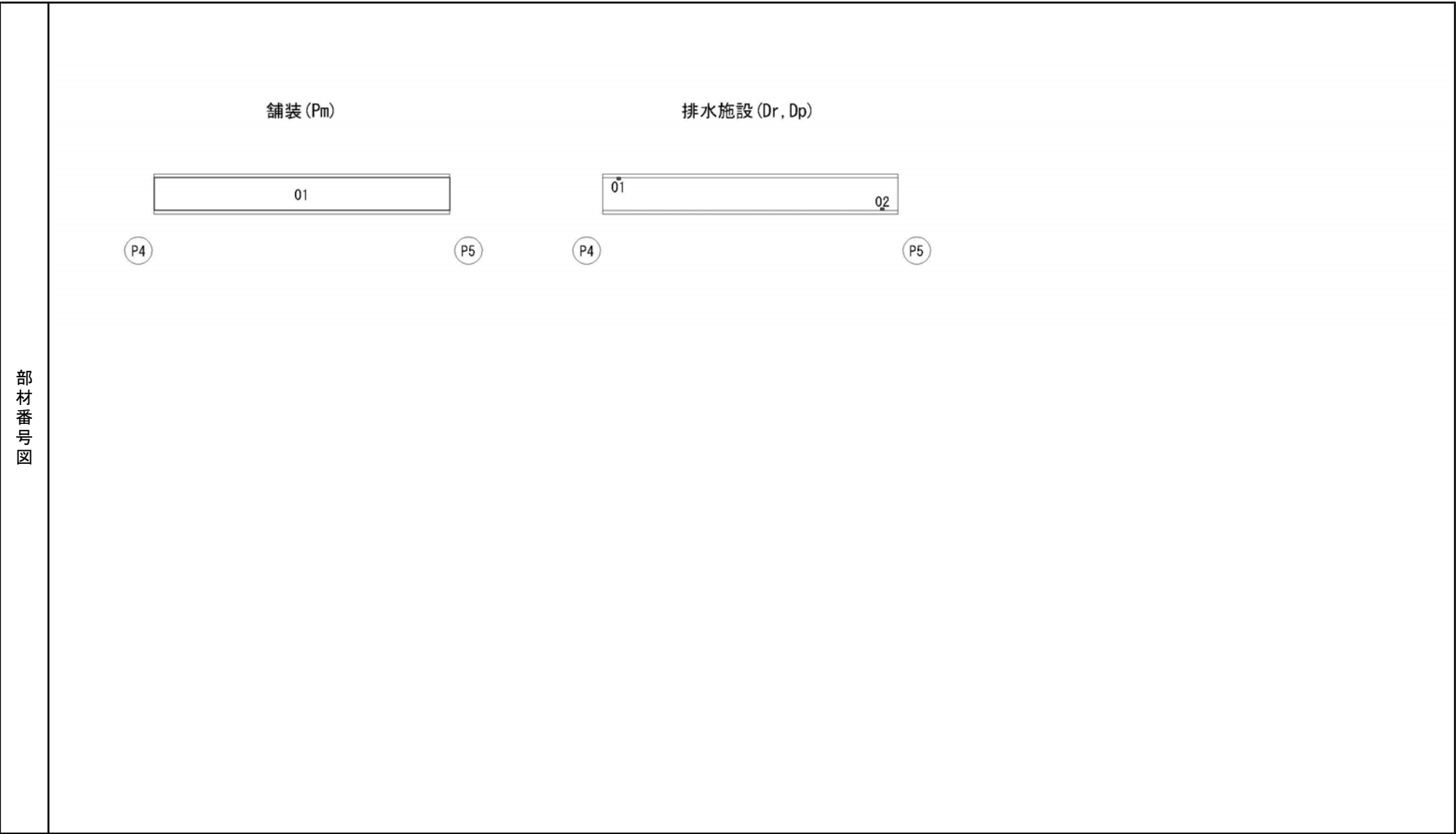
定期点検記録様式(その4) 部材番号図		径 間 番 号		4		起点側	緯度	35° 29′ 12.628″		終点側	緯度	35° 29′ 11.018″		橋梁ID	35.48684,136.24546
							経度	136° 14′ 43.660″			経度	136° 14′ 50.579″			
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名		雨森高野線		管理者		長 浜 市			橋梁コード		BR0-252034-01036



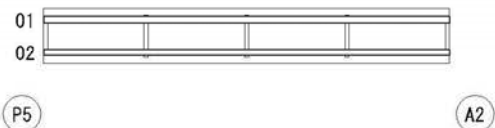
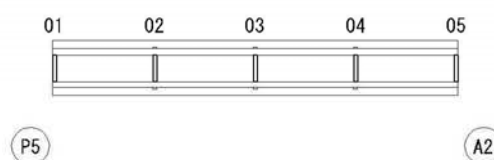
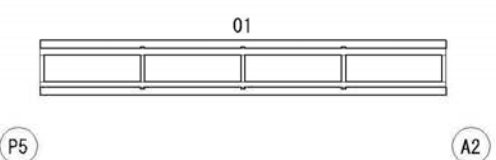
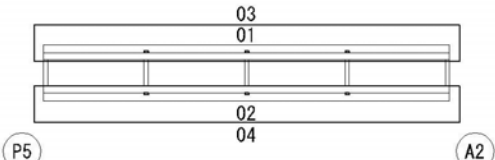
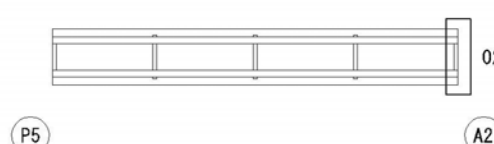
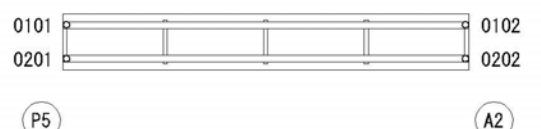
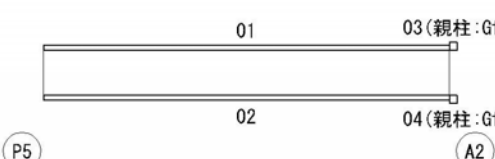
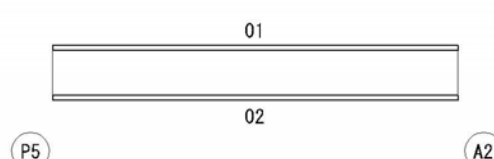

定期点検記録様式(その4) 部材番号図			径 間 番 号		5		起 点 側		緯 度		35° 29′ 12.628″		終 点 側		緯 度		35° 29′ 11.018″		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
									経 度		136° 14′ 43.660″				経 度		136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036						

部材番号図	主桁 (Mg)	横桁 (Cr)	床版 (Ds)
			
	PC定着部 (Cn)	橋脚 (Pw, Pb)	支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm)
			
	防護柵 (Gf)	地覆 (Fg)	伸縮装置 (Ej)
			

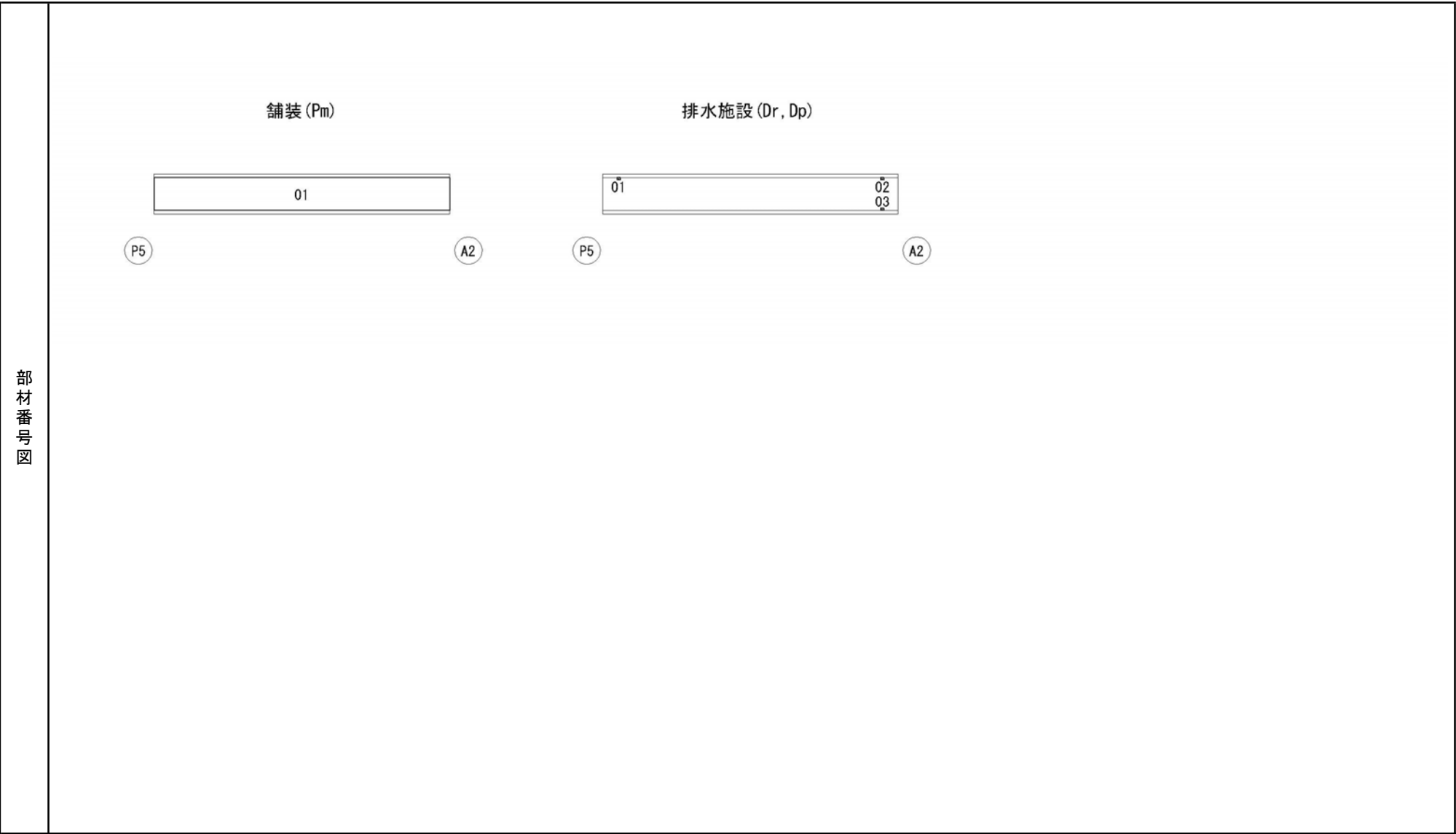
定期点検記録様式(その4) 部材番号図			径 間 番 号		5		起 点 側		緯 度		35° 29′ 12.628″		終 点 側		緯 度		35° 29′ 11.018″		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
									経 度		136° 14′ 43.660″				経 度		136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036						



定期点検記録様式(その4) 部材番号図			径 間 番 号		6		起点側		緯度		35° 29′ 12.628″		終点側		緯度		35° 29′ 11.018″		橋梁ID		35.48684,136.24546	
									経度		136° 14′ 43.660″				経度		136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管理者		長 浜 市				橋梁コード				BR0-252034-01036				

部 材 番 号 図	主 桁 (Mg)	横 桁 (Cr)	床 版 (Ds)
			
	PC定着部 (Cn)	橋台 (Ap, Ac)	支承本体 (Bh)、沓座モルタル (Bm)
			
	防護柵 (Gf)	地 覆 (Fg)	伸縮装置 (エラストイト) (Ej)
			

定期点検記録様式(その4) 部材番号図		径 間 番 号		6		起 点 側		緯 度		35° 29′ 12.628″		終 点 側		緯 度		35° 29′ 11.018″		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
								経 度		136° 14′ 43.660″				経 度		136° 14′ 50.579″					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋		路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市		橋 梁 コー ド		BR0-252034-01036							



定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
S	C	主桁	Mg	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号1,2,3】
S	C	主桁	Mg	01	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋に板厚減少が見られる。過年度から大きな進行はない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号4,5,6,7】
S	C	主桁	Mg	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号8,9,10】
S	C	主桁	Mg	02	e	e		剥離・鉄筋露出										⑦その他 (製作、施工不良)	II	支承部の主桁下面に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であるが、鉄筋に板厚減少の進行が見られるため予防保全を行う必要がある。 【写真番号11,12】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	1
------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	横桁	Cr	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋の腐食は軽微であり、過年度からの進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号13,14】
S	C	横桁	Cr	05	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋に板厚減少が見られるが、過年度からの進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号15,16】
S	C	床版	Ds	00	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋の板厚減少が進行しているが、局部的で、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号17,18,19,20】
S	C	床版	Ds	00	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (製作、施工不良)	I	床版の排水管周りの後埋めコンクリートから遊離石灰の析出がみられる。錆汁はなく軽微なため状況に応じて補修すればよい。 【写真番号19,20】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	床版	Ds	00	e	e					その他							⑦その他 (不法占用)	Ⅱ	床版に木材等の放置が見られる。火災につながる恐れもあるため撤去するのが望ましい。 【写真番号21,22】
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面のひびわれと繋がる斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検から幅は進行しているが軽微なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号23,24,25】
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。前回(H30)点検からの腐食進行は見られないため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号23,26,27,28,29】
S	C	PC定 着部	Cn	01	c	c	定着部の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。前回(H30)点検からの腐食進行は見られないため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号23,24,25,26,27,28,29】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面の ひびわれと繋がる斜め方向に生 じたひびわれが見られる。前回 (H30)点検からの損傷進行は見 られないため、状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号30,31】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよ い。 【写真番号34,35,36】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	横桁横締定着部に生じたひびわ れに橋面から回り込んだ雨水が 浸透し遊離石灰が見られる。前 回(H30)点検からの損傷進行は 見られないため、状況に応じて 補修をすればよい。 【写真番号32,33】
S	C	PC定 着部	Cn	02	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよ い。 【写真番号30,31,32,33,34,35,36】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
											区分E1 の損傷		更新	区分E2 の損傷						
A	C	縦壁	Ac	01	b	b	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	堅壁前面に乾燥収縮が原因と考えられる幅0.1mmの鉛直方向のひびわれが見られる。微細な損傷であり、前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号37,38】
A	C	縦壁	Ac	01	e	e	漏水・滞水											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	堅壁前面に橋面上からの漏水跡が見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。部材に損傷が見られるが軽微なため状況に応じて対応すればよい。 【写真番号39】
A	C	縦壁	Ac	01	e	e	土砂詰まり											⑦その他 (土砂堆積)	I	支承部周辺の橋座面に土砂堆積が見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。必要に応じて撤去する必要がある。 【写真番号40】
P	C	柱部・壁部	Pw	02	c	c	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	橋脚梁前面に乾燥収縮が原因と考えられる幅0.2mmの鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号41,42】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
P	C	柱部・壁部	Pw	02	e	e	漏水・滞水											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	梁部前面に橋面上からの漏水跡が見られる。部材に損傷が見られるが軽微なため状況に応じて対応すればよい。 【写真番号43】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、温度応力)	I	橋脚梁前面に乾燥収縮が原因と考えられる幅0.2mmの鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号44,45,46,47】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	腐食											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼板が一部で著しく腐食しているが、前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号50,51】
P	C	梁部	Pb	02	e	e	防食機能の劣化											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼板全体の腐食。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号50,51】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	1
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
P	C	梁部	Pb	02	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	橋脚梁下端に局部的ではある が著しい腐食を伴う鉄筋露出が 見られる。前回(H30)点検からの 損傷進行は見られない。局部的 なため状況に応じて補修をすれ ばよい。 【写真番号48,49】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	梁部に生じたひびわれに橋面上 からの漏水が浸透して生じた遊 離石灰が見られる。前回(H30)点 検から大きな進行はない。局所 的であり、状況に応じて対応す ればよい。 【写真番号46,47】
P	C	梁部	Pb	02	c	c	補修・補 強材の 損傷											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置され た欠け落ち補強鋼板が一部で 著しく腐食しているが、前回 (H30)点検からの進行は見られ ず、状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号50,51】
P	C	梁部	Pb	02	e	e	漏水・滯 水											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	梁部前面に橋面上からの漏水 跡が見られる。部材に損傷が見 られるが軽微なため状況に応じ て対応すればよい。 【写真番号43】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	2
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
											区分E1 の損傷		更新	区分E2 の損傷						
S	C	主桁	Mg	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号84,85,86,87,88】
S	C	主桁	Mg	01	d	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋の腐食は軽微である。過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号89,90,91】
S	C	主桁	Mg	01	c	c	変形・欠損											⑦その他 (衝突)	I	外的な何かの衝突によると考えられる局部的な欠損が見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号90,91】
S	C	主桁	Mg	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号92,93】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	2
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	主桁	Mg	02	e	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋に板厚減少が見られる。過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号94,95】
S	C	横桁	Cr	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた局部的なひびわれが見られる。過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号96,97】
S	C	横桁	Cr	01	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋の腐食は軽微であり、過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号98,99】
S	C	横桁	Cr	05	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた局部的なひびわれが見られる。過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号100,101】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	2
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	床版	Ds	00	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号102,103】
S	C	床版	Ds	00	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	間詰コンクリートと主桁の隙間に生じた遊離石灰が見られる。主桁端部付近の局所的な損傷であり、前回(H30)点検からの損傷進行はみられないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号104,105】
S	C	床版	Ds	00	d	d	床版ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、温度応力)	I	間詰コンクリートに微細なひびわれより、遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号106】
S	C	PC定着部	Cn	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。前回(H30)点検からの腐食進行は見られないため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号107,108,109,110】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	2
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	01	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号107,108,109,110】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号111,112,113】
S	C	PC定 着部	Cn	02	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号111,112,113】
P	C	梁部	Pb	02	c	c	腐食											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置され た欠け落ち補強鋼板全体に腐 食が見られる。前回(H30)点検か らの進行は見られず、状況に応 じて補修をすればよい。 【写真番号120】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	2
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
P	C	梁部	Pb	02	e	e	防食機能の劣化											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼板全体に腐食が見られる。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号120】
P	C	梁部	Pb	02	c	b	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、温度応力)	I	橋脚梁前面に乾燥収縮が原因と考えられる幅0.1mmの鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号114,115】
P	C	梁部	Pb	02	e	e		剥離・鉄筋露出										⑦その他 (製作、施工不良)	II	橋脚梁下端に広範囲な鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食に板厚減少が見られる。前回(H30)点検からうきが鉄筋露出に進展しており、速やかに補修等を行う必要がある。 【写真番号116,117,118,119】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	梁部に生じたひびわれに橋面上からの漏水が浸透して生じた遊離石灰が見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。局部的であり、状況に応じて対応すればよい。 【写真番号115】

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	3
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	主桁	Mg	01	e	e		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅱ	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と 考えられる腐食を伴う鉄筋露出が見 られる。前回(H30)点検より損傷が進 行している。下フランジ側面の損傷 は範囲が広く、支承部付近の鉄筋露 出とともに予防保全の観点から補修 を行う必要がある。 【写真番号160,161,162,163,164, 165】
S	C	主桁	Mg	02	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向 に生じたひびわれが見られる。 前回(H30)点検からの損傷進行 は見られないため、状況に応じ て補修をすればよい。 【写真番号166】
S	C	主桁	Mg	02	e	e		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅱ	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因 と考えられる腐食を伴う鉄筋 露出が見られる。前回(H30)点検 より損傷が進行している。支承 部付近の鉄筋露出は予防保全 の観点から補修を行う必要があ る。 【写真番号167,168,169】
S	C	主桁	Mg	02	c	c	変形・欠 損											⑦その他 (衝突)	I	外的な何かの衝突によると考え られる局所的な欠損が見られ る。前回(H30)点検からの損傷進 行は見られず、状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号168,169】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	3
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
S	C	横桁	Cr	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた0.2mm幅の鉛直方向ひびわれが見られる。軽微な損傷であり前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号170,171】
S	C	床版	Ds	00	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号172,173】
S	C	床版	Ds	00	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	張出し床版の排水装置周辺に遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの進行はない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号174】
S	C	床版	Ds	00	d	d	床版ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	中間床版下面に最大0.3mmの一方向ひびわれが見られる。前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号175,176,177,178】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	3
------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
											区分E1 の損傷		更新	区分E2 の損傷						
S	C	床版	Ds	00	e	e	その他											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	床版下面に型枠の残材が見られる。必要に応じて撤去を行う必要がある。 【写真番号177】
S	C	PC定着部	Cn	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面のひびわれと繋がる斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号179】
S	C	PC定着部	Cn	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、前回(H30)点検から大きな進行はない。局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号180,181,182,183,184】
S	C	PC定着部	Cn	01	c	c	定着部の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、前回(H30)点検から大きな進行はない。局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号179,180,181,182,183,184】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	3
------------------------------	------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
S	C	PC定着部	Cn	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面のひびわれと繋がる斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からひびわれ幅が拡大しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号185】
S	C	PC定着部	Cn	02	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号186,187】
S	C	PC定着部	Cn	02	c	c	定着部の異常											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。前回(H30)点検から腐食が進行している。局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号185,186,187】
P	C	梁部	Pb	02	c	c	腐食											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼板全体の腐食。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号191,192】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	4
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	主桁	Mg	01	e	e		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅱ	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と 考えられる鉄筋露出が見られる。損 傷は局部的であるが、鉄筋は著しく 腐食している。主筋が露出している 箇所については進行しており予防保 全のため補修が必要である。 【写真番号220,221,222,223,224, 225,226,227】
S	C	主桁	Mg	02	d	d		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因 と考えられる鉄筋露出が見ら れる。鉄筋に板厚減少が見ら れ、過年度から腐食は進行して いるが、局部的なため状況に応 じて補修をすればよい。 【写真番号228,229】
S	C	床版	Ds	00	d	d		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足 が原因と考えられる鉄筋露出が 見られる。鉄筋に板厚減少が見 られ、過年度から腐食は進行し ているが、局部的なため状況に 応じて補修をすればよい。 【写真番号231,232,233,234】
S	C	床版	Ds	00	d	d		漏水・遊 離石灰										⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	床版下面に生じた橋軸直角方 向床版ひびわれに軽微な遊離 石灰が見られる。前回(H30)点検 からの損傷進行は見られないた め、状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号235,236,237】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)				径 間 番 号	4	起点側		緯度	35° 29' 12.628"	起点側		緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
								経度	136° 14' 43.660"			経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名	雨森高野線		管理者	長浜市			橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	--	--	-------	-------	--	-----	-----	--	--	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	床版	Ds	00	d	d	床版ひ びわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	床版下面に生じた橋軸直角方 向床版ひびわれに軽微な遊離 石灰が見られる。前回(H30)点検 からの損傷進行は見られないた め、状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号236,238】
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面の ひびわれと繋がる斜め方向に生 じたひびわれが見られる。前回 (H30)点検からの損傷進行は見 られないため、状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号239,240】
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよ い。 【写真番号239,240】
S	C	PC定 着部	Cn	01	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。過年度から腐 食は進行しているが、局部的な ため状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号239,240,241,242,243】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	4
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	横桁横締定着部に主桁側面の ひびわれと繋がる斜め方向に生 じたひびわれが見られる。前回 (H30)点検よりひびわれ幅が拡 大しているが、局部的なため、状 況に応じて補修をすればよい。 【写真番号245,246】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。過年度から腐 食の進行は見られない。局部的 なため状況に応じて補修をすれ ばよい。 【写真番号245,247】
S	C	PC定 着部	Cn	02	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。過年度から腐 食は進行しているが、局部的な ため状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号244,245,246,247】
P	C	梁部	Pb	02	c	c	腐食											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置され た欠け落ち補強鋼鈑全体の腐 食。前回(H30)点検からの進行 は見られず、状況に応じて補修 をすればよい。 【写真番号256、257】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	4
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
P	C	梁部	Pb	02	e	e	防食機能の劣化											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼鈑全体の腐食。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号256,257】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、温度応力)	I	橋脚梁前面に乾燥収縮が原因と考えられる幅0.3mmの鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号248,249,250】
P	C	梁部	Pb	02	e	e		剥離・鉄筋露出										⑦その他 (製作、施工不良)	II	橋脚梁下面の広範囲で被り不足による板厚減少を伴う鉄筋露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号251,252,253,254,255】
P	C	梁部	Pb	02	d	c	補修・補強材の損傷											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置された欠け落ち補強鋼鈑全体の腐食。前回(H30)点検からの進行は見られず、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号256,257】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	5
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
S	C	主桁	Mg	01	d	d	ひびわれ											③凍害	I	径間中央付近下フランジに内部からの膨張が要因と考えられる最大幅0.3mmの橋軸方向ひびわれが複数見られる。前回(H30)点検から進行はないが、次回点検時にも進行を確認する必要がある。 【写真番号290,291,292,293,294,295】
S	C	主桁	Mg	01	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号292,294,296,297,298,299,300,301】
S	C	主桁	Mg	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。一部新規に生じた箇所があるが、過年度から大きな進行はないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号304,305,306,307,308,309,310,311,312】
S	C	主桁	Mg	02	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号308,313,314,315】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	5
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	横桁	Cr	01	e	e	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた0.2mm幅の鉛直方向ひびわれが見られる。軽微な損傷であり前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号316,317】
S	C	横桁	Cr	01	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	横桁上端に伸縮装置からの浸透と考えられる遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号318】
S	C	横桁	Cr	05	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (防水、排水工不良)	I	横桁上端に伸縮装置からの浸透と考えられる遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号319】
S	C	床版	Ds	00	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号320,321,322】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	5
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
											区分E1 の損傷		更新	区分E2 の損傷						
S	C	床版	Ds	00	d	d	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	床版下面に生じた橋軸直角方 向床版ひびわれに軽微な遊離 石灰が見られる。前回(H30)点検 からの損傷進行は見られないた め、状況に応じて補修をすれ ばよい。 【写真番号323,324,325,326,327, 328】
S	C	床版	Ds	00	d	d	床版ひ びわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	間詰コンクリートに微細なひび われより、遊離石灰が見られる。前 回(H30)点検からの進行は見ら れず、状況に応じて補修をすれ ばよい。 【写真番号326,327,328】
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁横締定着部に主桁側面の ひびわれと繋がる斜め方向に生 じたひびわれが見られる。前回 (H30)点検からの損傷進行は見 られないため、状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号329,330,331,332】
S	C	PC定 着部	Cn	01	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。過年度から一 部腐食は進行しているが、局所 的なため状況に応じて補修をす ればよい。 【写真番号333,334,335】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	5
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	01	d	d	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	横桁横締定着部に生じたひびわ れに橋面から回り込んだ雨水が 浸透し遊離石灰が見られる。前 回(H30)点検からの損傷進行は 見られないため、状況に応じて 補修をすればよい。 【写真番号329,330】
S	C	PC定 着部	Cn	01	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよ い。 【写真番号329,330,331,332,333, 334,335】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁横締定着部に主桁側面の ひびわれと繋がる斜め方向に生 じたひびわれが見られる。新規 に損傷が生じた箇所がある。局 所的なため、状況に応じて補修 をすればよい。 【写真番号336,337,339,340】
S	C	PC定 着部	Cn	02	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。新規に損傷が 生じた箇所がある。局所的なた め、状況に応じて補修をすれば よい。 【写真番号336,339,341,342,343】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	5
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	02	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足 が原因と考えられる定着金具の 露出が見られる。前回(H30)点検 からの腐食進行は見られないた め状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号336,337,338,339,340, 341,342,343】
P	C	梁部	Pb	02	c	c	腐食											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置され た欠け落ち補強鋼板全体の腐 食。前回(H30)点検からの進行 は見られず、状況に応じて補修 をすればよい。 【写真番号347,348】
P	C	梁部	Pb	02	e	e	防食機 能の劣 化											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	橋脚梁部支承前面に設置され た欠け落ち補強鋼板全体の腐 食。前回(H30)点検からの進行 は見られず、状況に応じて補修 をすればよい。 【写真番号347,348】
P	C	梁部	Pb	02	d	d	ひびわ れ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	橋脚梁前面に乾燥収縮が原因 と考えられる幅0.2mmの鉛直方 向のひびわれが見られる。前回 (H30)点検からの損傷進行は見 られないため、状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号344】

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	6
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	主桁	Mg	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号375,376,377,378】
S	C	主桁	Mg	01	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。新規損傷である。鉄筋に板厚減少が見られるが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号379,380,381】
S	C	主桁	Mg	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (想定外の 荷重)	I	支点上の主桁側面に斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号384,385】
S	C	主桁	Mg	02	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	主桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局所的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号386,387,388,389】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	6
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	横桁	Cr	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた0.2mm幅の鉛直方向ひびわれが見られる。軽微な損傷であり前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号390,391】
S	C	横桁	Cr	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋の腐食は軽微であり、過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号390,391,392】
S	C	横桁	Cr	02	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局部的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号393,394】
S	C	横桁	Cr	05	c	c	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁前面に生じた0.1mm幅の鉛直方向ひびわれが見られる。軽微な損傷であり前回(H30)点検からの進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号395,396】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	6
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	横桁	Cr	05	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷は局部的であり、鉄筋に板厚減少が見られる。過年度からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号395,396】
S	C	床版	Ds	00	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	床版端部に鉄筋のかぶり不足が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。鉄筋に板厚減少が見られ、過年度から腐食は進行しているが、局部的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号397,398,399,400】
S	C	床版	Ds	00	d	d	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (防水、排水 工不良)	I	張出し床版の排水装置周辺に遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの進行はない。状況に応じて補修等を行う必要がある。 【写真番号401】
S	C	床版	Ds	00	d	d	床版ひ びわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	床版下面に生じた橋軸直角方向床版ひびわれに軽微な遊離石灰が見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号402,403,404】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	6
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	床版	Ds	00	e	e					その他							⑦その他 (不法占用)	Ⅱ	床版に木材等の放置が見られる。火災につながる恐れもあるため撤去するのが望ましい。 【写真番号405】
S	C	PC定着部	Cn	01	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁横締定着部に主桁側面のひびわれと繋がる斜め方向に生じたひびわれが見られる。新規損傷である。局部的なため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号406,407】
S	C	PC定着部	Cn	01	e	e	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作、施工不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から一部腐食は進行しているが、局部的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号408,409,410,411,412】
S	C	PC定着部	Cn	01	d	d	漏水・遊離石灰											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁横締定着部に生じたひびわれに橋面から回り込んだ雨水が浸透した漏水跡が見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号411,412】

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径 間 番 号	6
------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
S	C	PC定 着部	Cn	01	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部に生じたひびわれに橋面から回り込んだ雨水が浸透した漏水跡が見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号406,407,408,409,410,411,412】
S	C	PC定 着部	Cn	02	d	d	ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮、 温度応力)	I	横桁横締定着部に主桁側面のひびわれと繋がる斜め方向に生じたひびわれが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られないため、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号413,414,417,418】
S	C	PC定 着部	Cn	02	e	e	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、局部的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号413,415,416,419,420,421,422】
S	C	PC定 着部	Cn	02	c	c	定着部 の異常											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	横桁横締定着部にかぶり不足が原因と考えられる定着金具の露出が見られる。過年度から腐食は進行しているが、局部的なため状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号413,414,415,416,417,418,419,420,421,422】

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)				径 間 番 号	1	起点側		緯度	35° 29' 12.628"	起点側		緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
								経度	136° 14' 43.660"			経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名	雨森高野線		管理者	長浜市			橋梁コード	BR0-252034-01036	
---------------	-----------------	--	--	-------	-------	--	-----	-----	--	--	-------	------------------	--

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
B	S	支 承 本体	Bh		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号52,53,54,55】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号52,53,54,55】
B	S	アン カー ボルト	Ba		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号52,53,54,55】
B	S	アン カー ボルト	Ba		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号52,53,54,55】
B	C	沓座 モルタル	Bm		c	c	変形・欠損												I	Bm0102は伸縮装置からの漏水と経年劣化によるモルタルの部分的な剥離が生じている。新規損傷である。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号56】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	1
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等	
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		うき											Ⅱ	Bm0202モルタルの締固め不足、車両通行による振動等により内部に空洞が見られる。ひびわれからうきに進行しており、予防保全措置が必要である。 【写真番号57,58】
R	C	防護 柵	Gf		d	d		ひびわれ											Ⅱ	笠木に横断方向のひびわれが見られる。局部的であるが、安全施設のため規格に合わせた更新を含め補修を行う必要がある。 【写真番号61,62,68,69】
R	C	防護 柵	Gf		e	c		剥離・鉄筋露出											Ⅱ	かぶり不足が要因と考えられる剥離・鉄筋露出及びびが見られ、一部の鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進行している。安全施設のため規格に合わせた更新を含め補修を行う必要がある。 【写真番号63,64,65,66,70,71,73,74,75,76】
R	C	防護 柵	Gf		e	e		うき											I	締固め不足による空洞と考えられる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号67】
R	C	防護 柵	Gf		e	e		その他											I	防護柵に苔が発生している。必要に応じて撤去する必要がある。 【写真番号72】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	1
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	防護柵	Gf		c	c		変形・欠損											II	軽微な欠損、鉄筋露出部の欠損が見られる。鉄筋露出部については範囲が大きく、安全施設のため補修を行う必要がある。 【写真番号63,64,65,66,73,74】
R	C	地覆	Fg		c	c	剥離・鉄筋露出												I	何らかとの衝突等により生じている損傷と考えられる。軽微であり、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号75,76】
R	C	地覆	Fg		c	c	変形・欠損												I	何らかとの衝突等により生じている損傷と考えられる。軽微であり、状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号75,76】
R	X	伸縮装置	Ej		e	e	その他												I	交通の繰り返し載荷が要因と考えられる目地材の脱落が見られる。橋面の段差補修時にアスファルトで仮補修されているが桁下への漏水の要因となっている。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号77,78,79,80】
D	S	排水ます	Dr		c	c	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号81】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支 承 本体	Bh		e	c		腐食											Ⅱ	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。一部に板厚減少、下沓の一部欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷が進行している。予防保全措置が必要である。【写真番号121,122,123,124,125,126,127,128,129,130,131】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e		防食機能の劣化											Ⅱ	全体的に防食機能が劣化し、板厚減少を伴う腐食が生じ、下沓の一部では欠損が見られる。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検より損傷が進行している。予防保全措置が必要である。【写真番号121,122,123,124,125,126,127,128,129,130,131】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e			支承部の機能障害										Ⅲ	橋面上の繰り返し車両荷重による支装置全体の疲労が要因と考えられる沈下、下沓の欠損、アンカーボルトの破断が見られる。前回(H30)点検より損傷が進行している。速やかに部材取替等の対策が必要である。【写真番号121,122,123,124,125,126,127】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e			沈下・移動・傾斜										Ⅲ	支承モルタルが全体的に欠損し、沈下している。前回(H30)点検より損傷が進行している。支承本体、アンカーボルトを含めて速やかに取替補修を行う必要がある。【写真番号121,124】
B	S	アンカーボルト	Ba		e	c		腐食	○										Ⅲ	経年劣化及び雨水によると思われる板厚減少を伴う腐食が生じている。前回(H30)点検より損傷が進行している。腐食は全体的で速やかに補修を行う必要がある。【写真番号121,122,123,124,125,126,127】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径間番号	2
---	------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果					
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等		
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定					
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷				
B	S	アンカーボルト	Ba		e	e				破断	○									Ⅲ	経年劣化による断面減少、車両の繰返し載荷により生じた損傷と考えられる破断で、前回(H30)点検より損傷が進行しているため速やかに支取替等の対策が必要である。 【写真番号121,122,123,124,125,126,127】	
B	S	アンカーボルト	Ba		e	e				防食機能の劣化	○										Ⅲ	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検より損傷が進行している。腐食は全体的で、速やかに補修を行う必要がある。 【写真番号132,133,134,135,136】
B	C	沓座モルタル	Bm		e	e				剥離・鉄筋露出	○										Ⅲ	支承モルタルが全体的に欠損し、鉄筋が露出しており、鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進行している。支承本体、アンカーボルトを含めて速やかに取替補修を行う必要がある。 【写真番号133,134,135】
B	C	沓座モルタル	Bm		e	e				変形・欠損	○										Ⅲ	支承モルタルが全体的に欠損している。前回(H30)点検より損傷が進行している。支承本体、アンカーボルトを含めて速やかに取替補修を行う必要がある。 【写真番号132,133,134,135,136】
R	C	防護柵	Gf		d	d				ひびわれ											Ⅱ	笠木に横断方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。局部的であるが、安全施設のため規格に合わせた更新を含め補修を行う必要がある。 【写真番号138,139】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	防護 柵	Gf		d	d		剥離・鉄 筋露出											Ⅱ	かぶり不足が要因と考えられる鉄筋露 出は、一部の鉄筋が著しく腐食してい る。前回(H30)点検から大きな進行は ないが、安全施設のため規格に合わ せた更新を含め補修を行う必要があ る。 【写真番号140,141,142,143,144, 147,148,149,150】
R	C	防護 柵	Gf		e	e		その他											Ⅱ	交通荷重による振動が要因と考えら れる防護柵横桟と支柱の接合部に 隙間が見られる。前回(H30)点検か ら大きな進行はないが、支柱の桟を 支えている部分であるため補修を行 う必要がある。 【写真番号145,146】
R	C	防護 柵	Gf		c	c		変形・欠 損											Ⅱ	防護柵の支柱部分に剥離に伴う 欠損がみられる。前回(H30)点検 から大きな進行はないが、欠損 が大きいため安全性の観点から 補修が必要である。 【写真番号142,143,144】
R	X	伸縮 装置	Ej		e	e	その他												Ⅰ	伸縮装置の後打ちコンクリート に経年劣化によるひびわれが見 られる。前回(H30)点検から大き な進行はない。状況に応じて補 修をすればよい。 【写真番号152,153】
R	X	伸縮 装置	Ej		c	c		変形・欠 損											Ⅱ	伸縮装置にコンクリートに経年 劣化による欠損が見られる。前 回(H30)点検から大きな進行は ないが、桁下への漏水もあり、 補修を行う必要がある。 【写真番号154】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)				径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
							経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋			路線名	雨森高野線			管理者	長浜市			橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	--	--	-----	-------	--	--	-----	-----	--	--	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
													区分E1 の損傷	更新						
B	S	支 承 本体	Bh		d	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる 板厚減少を伴う腐食が生じている。 前回(H30)点検から大きな進行はな い。腐食は局部的であり、状況に応 じて補修を行えばよい。 【写真番号193,194,195,196】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e	防食機 能の劣 化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が 生じている。前回(H30)点検から大き な進行はない。経年劣化及び雨水に よると思われる。腐食は局部的であ り、状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号193,194,195,196】
B	S	アン カー ボルト	Ba		d	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる 板厚減少を伴う腐食が生じている。 前回(H30)点検から大きな進行はな い。腐食は軽微で状況に応じて補修 を行えばよい。 【写真番号193,194,195,196】
B	S	アン カー ボルト	Ba		e	e	防食機 能の劣 化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が 生じている。前回(H30)点検から大き な進行はない。経年劣化及び雨水に よると思われる。腐食は軽微で状況 に応じて補修を行えばよい。 【写真番号193,194,195,196】
R	C	防 護 柵	Gf		d	d		ひびわ れ											Ⅱ	笠木に横断方向のひびわれが見ら れる。前回(H30)点検から大きな進行 はないが、安全施設のため規格に合 わせた更新を含め補修を行う必要が ある。 【写真番号198,199,206,207,208, 209】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	3
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	防護柵	Gf		d	d		剥離・鉄筋露出											II	かぶり不足が要因と考えられる剥離・鉄筋露出及びびが見られ、一部の鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検から大きな進行はないが、安全施設のため規格に合わせた更新を含め補修を行う必要がある。 【写真番号200,201,202,203,204,205,210,211】
R	C	防護柵	Gf		c	c		変形・欠損											II	鉄筋露出部の欠損が見られる。安全施設のため補修を行う必要がある。 【写真番号204,205】
R	C	地覆	Fg		d	d		剥離・鉄筋露出											I	鉄筋のかぶり不足により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号212,213】
R	C	地覆	Fg		e	e		うき											I	締固め不足により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号214】
R	S	伸縮装置	Ej		b	b		腐食											I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号215,216】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	3
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	S	伸縮装置	Ej		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号215,216】
D	S	排水ます	Dr		b	b	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号217,218】
D	S	排水ます	Dr		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号217,218】
D	S	排水管	Dp		d	d	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号219】
D	S	排水管	Dp		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号219】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	4
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支 承 本体	Bh		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号258,259,260,261】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号258,259,260,261】
B	S	アンカー ボルト	Ba		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる板厚減少を伴う腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号258,259,260,261】
B	S	アンカー ボルト	Ba		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号258,259,260,261】
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		うき											Ⅱ	支承モルタルが全体的にうきが見られる。現状では支承の移動、沈下は見られない。予防保全の観点から補修を行う必要がある。 【写真番号263】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	4
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		変形・欠 損											Ⅱ	支承モルタル全体に欠損しており、 下沓側面が露出している。現状では 支承の沈下等は見られない。予防保 全の観点から補修を行う必要があ る。 【写真番号262,263,264,265】
R	C	防護 柵	Gf		d	d		ひびわ れ											Ⅱ	笠木に横断方向のひびわれが 見られる。局部的であるが、安 全施設のため規格に合わせた 更新を含め補修を行う必要があ る。 【写真番号267,268,273,274】
R	C	防護 柵	Gf		e	d	剥離・鉄 筋露出												Ⅰ	支柱外側にかぶり不足が要因と考え られる剥離・鉄筋露出が見られる。 前回(H30)点検のうきからの進行も 見られる。状況に応じて補修を行う 必要がある。 【写真番号269,270,271,272,275, 276,277,278】
R	C	防護 柵	Gf		c	c		変形・欠 損											Ⅱ	防護柵のコンクリート剥離に伴う 欠損が見られる。鉄筋露出部に ついては範囲が大きく、安全施 設のため補修を行う必要があ る。 【写真番号271,272,277,278】
R	C	地覆	Fg		d	d	剥離・鉄 筋露出												Ⅰ	地覆下端水切り部に生じたかぶり不 足が要因と考えられる局所的な損傷 が見られる。前回(H30)点検からの 損傷進行は見られなく、状況に応じ て補修を行う必要がある。 【写真番号280,281】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	4
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	地覆	Fg		e	e	うき												I	地覆終点側端部に局部的なうきが見られる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号279】
R	X	伸縮装置	Ej		e	e	その他												I	前回(H30)点検後の補修部が再劣化し目地材の脱落、欠損が生じている。損傷部から雨水流出により支承部の損傷進行が懸念され状況に応じて補修を行うとよい。 【写真番号282,283,284,285】
D	S	排水ます	Dr		c	c	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号286,287】
D	S	排水ます	Dr		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号286,287】
D	S	排水管	Dp		e	e	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号288,289】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	5
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支 承 本体	Bh		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号349,350,351,352】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号349,350,351,352】
B	S	アンカー ボルト	Ba		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号349,350,351,352】
B	S	アンカー ボルト	Ba		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号349,350,351,352】
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		変形・欠損											Ⅱ	支承モルタル全体が欠損し下沓側面が露出している。現状では支承の沈下等は見られない。予防保全の観点から補修を行う必要がある。 【写真番号353】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	5
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	舗装	Pm		c	c	舗装の 異常												I	コンクリート舗装に交通荷重の 繰返し載荷摩耗によるひびわれ が生じている。前回(H30)点検か らの損傷進行は見られず、状況 に応じて補修をすればよい。 【写真番号354,355】
R	C	防護 柵	Gf		d	d													II	笠木に横断方向のひびわれが 見られる。局部的であるが、安 全施設のため規格に合わせた 更新を含め補修を行う必要があ る。 【写真番号356,357,363,364】
R	C	防護 柵	Gf		e	e	剥離・鉄 筋露出												II	かぶり不足が要因と考えられる剥離・鉄筋 露出及びが見られ、一部の鉄筋は著しく 腐食している。前回(H30)点検より損傷が 進行している箇所がある。安全施設のため 規格に合わせた更新を含め補修を行う 必要がある。 【写真番号358,359,360,361,365, 366,367,368】
R	C	防護 柵	Gf		e	e	うき												II	締固め不足により生じている損 傷と考えられる。前回(H30)点検 からの損傷進行は見られないが 面積が広いため予防保全措置 が必要である。 【写真番号362】
R	C	防護 柵	Gf		c	c	変形・欠 損												II	車両等との衝突等により生じた 軽微な欠損、鉄筋露出部の欠損 が見られる。鉄筋露出部につい ては安全施設のため補修を行う 必要がある。 【写真番号358,359,367,368】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	5
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	地覆	Fg		e	e	剥離・鉄筋露出												I	地覆下面に局部的な鉄筋露出がみられ著しく腐食している。前回(H30)点検から鉄筋の腐食は進行しているが局部的なため状況に応じて補修すればよい。 【写真番号369】
R	S	伸縮装置	Ej		b	b	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号370,371】
R	S	伸縮装置	Ej		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。前回(H30)点検からの損傷進行は見られない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号370,371】
D	S	排水ます	Dr		b	b	腐食												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号372,373】
D	S	排水ます	Dr		e	e	防食機能の劣化												I	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号372,373】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	6
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	S	支 承 本体	Bh		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる板厚減少を伴う腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号427,428,429,430】
B	S	支 承 本体	Bh		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号427,428,429,430】
B	S	アン カー ボルト	Ba		c	c	腐食												I	経年劣化及び雨水によると思われる腐食が生じている。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号427,428,429,430】
B	S	アン カー ボルト	Ba		e	e	防食機能の劣化												I	全体的に防食機能が劣化し、腐食が生じている。経年劣化及び雨水によると思われる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行えばよい。 【写真番号427,428,429,430】
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		剥離・鉄筋露出											II	支承モルタル全体に欠損し鉄筋が露出している。著しく腐食しており、予防保全の観点から補修を行う必要がある。 【写真番号433】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	6
---	---------	---

起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
B	C	沓座 モルタル	Bm		e	e		変形・欠 損											Ⅱ	支承モルタル全体に欠損しており、 下沓側面が露出している。現状では 支承の沈下等は見られない。予防保 全の観点から補修を行う必要があ る。 【写真番号431,432,433,434】
R	C	舗装	Pm		e	e					路面の凹凸								Ⅱ	伸縮装置と橋台背面に生じた段 差3cm。前回(H30)点検からの進 行は見られない。維持工事にて 対応するのがよい。 【写真番号435,436】
R	C	防護 柵	Gf		d	d		ひびわ れ											Ⅱ	笠木に横断方向のひびわれが見ら れる。前回(H30)点検から大きな進行 はない。局部的であるが、安全施設 のため規格に合わせた更新を含め 補修を行う必要がある。 【写真番号437,438,439,444,445】
R	C	防護 柵	Gf		e	c		剥離・鉄 筋露出											Ⅱ	かぶり不足が要因と考えられる剥離・鉄筋 露出及びびが見られ、一部の鉄筋は著しく 腐食している。前回(H30)点検より損傷が 進行している。安全施設のため規格に合 わせた更新を含め補修を行う必要があ る。 【写真番号440,441,442,443,446, 447,448,449,450,452,454,455】
R	C	防護 柵	Gf		e	e		うき											Ⅱ	締固め不足により生じている損 傷と考えられる。前回(H30)点検 からの損傷進行は見られないが 面積が広いため予防保全措置 が必要である。 【写真番号451,453】

定期点検記録様式(その8) 対策区分判定結果(様式(その7)に記載以外の部材)	径 間 番 号	6
---	---------	---

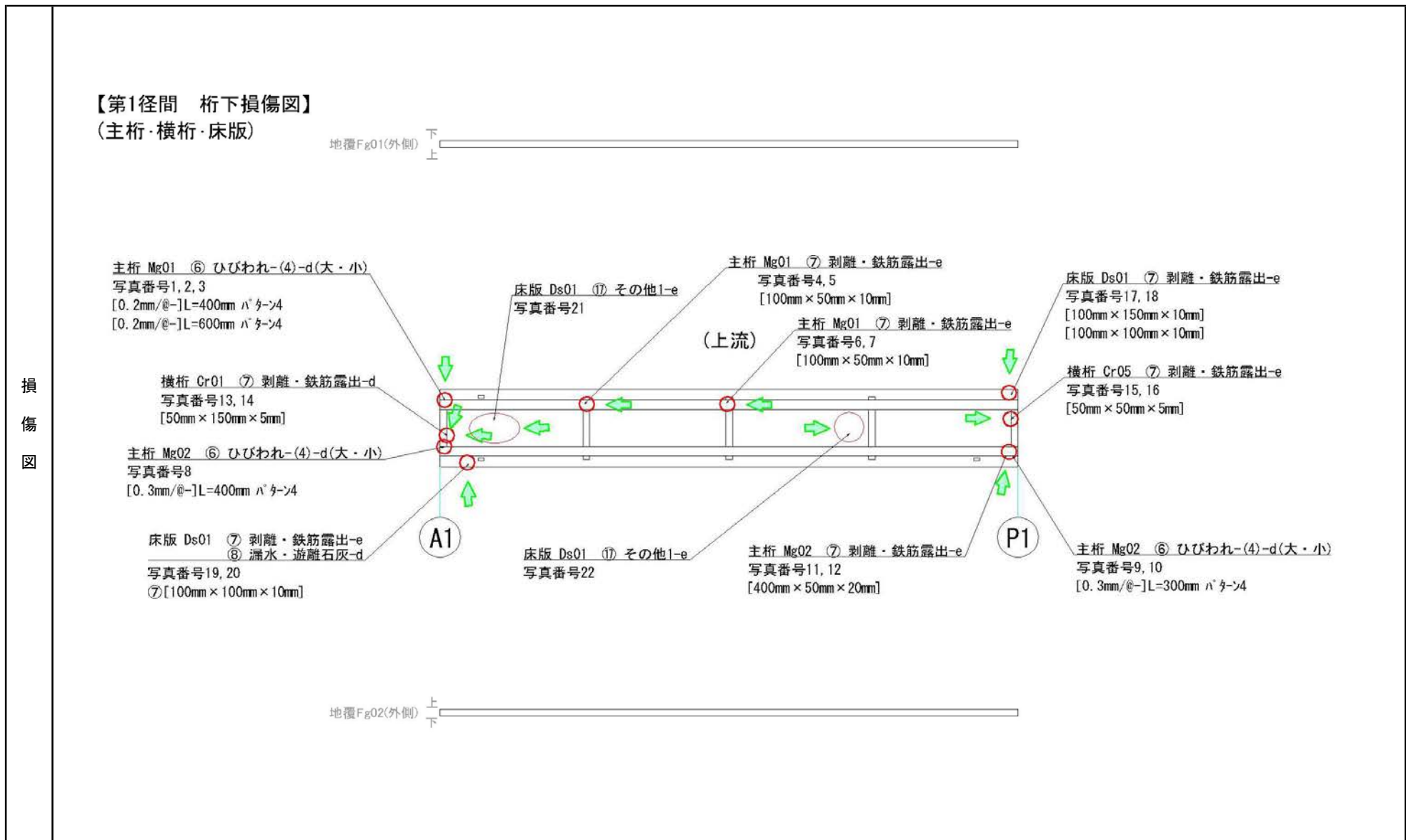
起点側	緯度	35° 29' 12.628"	起点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
	経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		原 因		健全度 (部材単位)	所 見 等
							区分B の損傷	区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
												区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷		
R	C	防護 柵	Gf		c	c		変形・欠 損											Ⅱ	親柱表面の化粧モルタル、防護柵鉄筋露出部のコンクリートの欠損が見られる。鉄筋露出部については安全施設のため補修を行う必要がある。 【写真番号 442,443,449,450,452,454,455】
R	C	地覆	Fg		b	b	ひびわ れ												Ⅰ	地覆下端の水切り部にひびわれが見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号456】
R	C	地覆	Fg		d	d	漏水・遊 離石灰												Ⅰ	地覆下端の水切り部のひびわれに局部的な遊離石灰が見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号456】
R	X	伸縮 装置	Ej		e	e	その他												Ⅰ	交通の繰り返し载荷が要因と考えられる後打ちコンクリートのひびわれが見られる。前回(H30)点検から大きな進行はない。状況に応じて補修を行う必要がある。 【写真番号457,458,459,460】
D	S	排水 ます	Dr		b	b	腐食												Ⅰ	雨水及び経年劣化により生じている損傷と考えられる。軽微であり、前回(H30)点検時からの損傷進行は見当たらない。状況に応じて補修をすればよい。 【写真番号461,462】

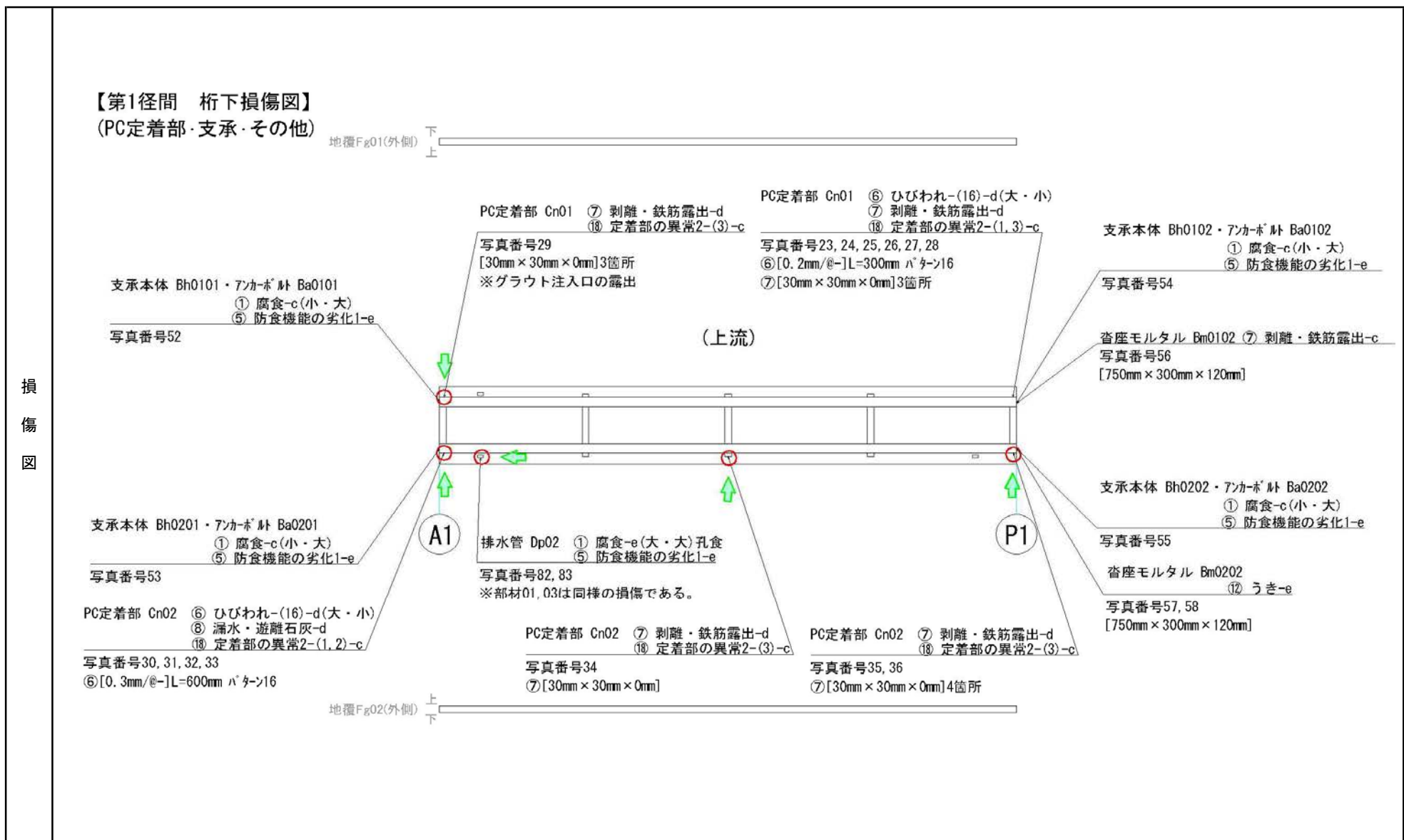
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

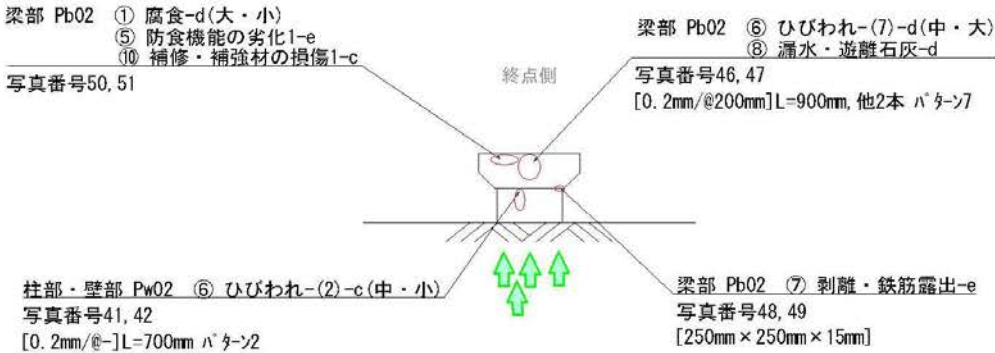
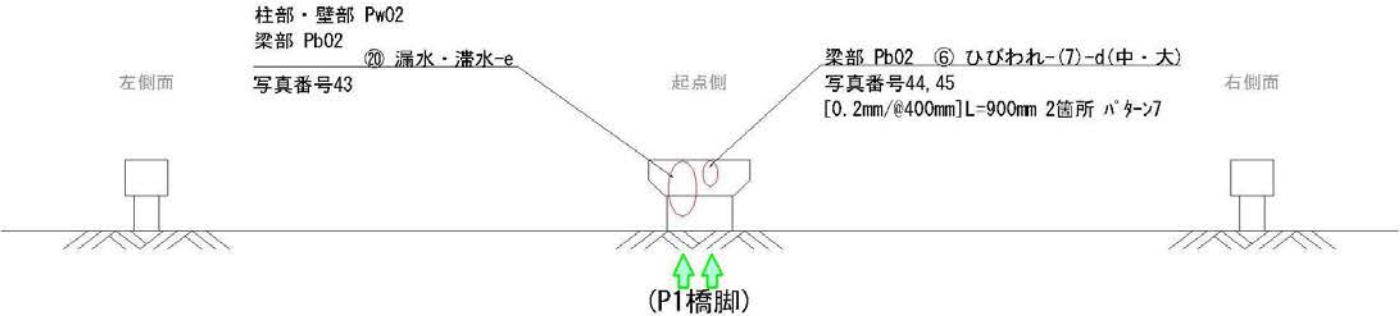
損傷図

【A1橋台 損傷図】

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

【P1橋脚 損傷図】

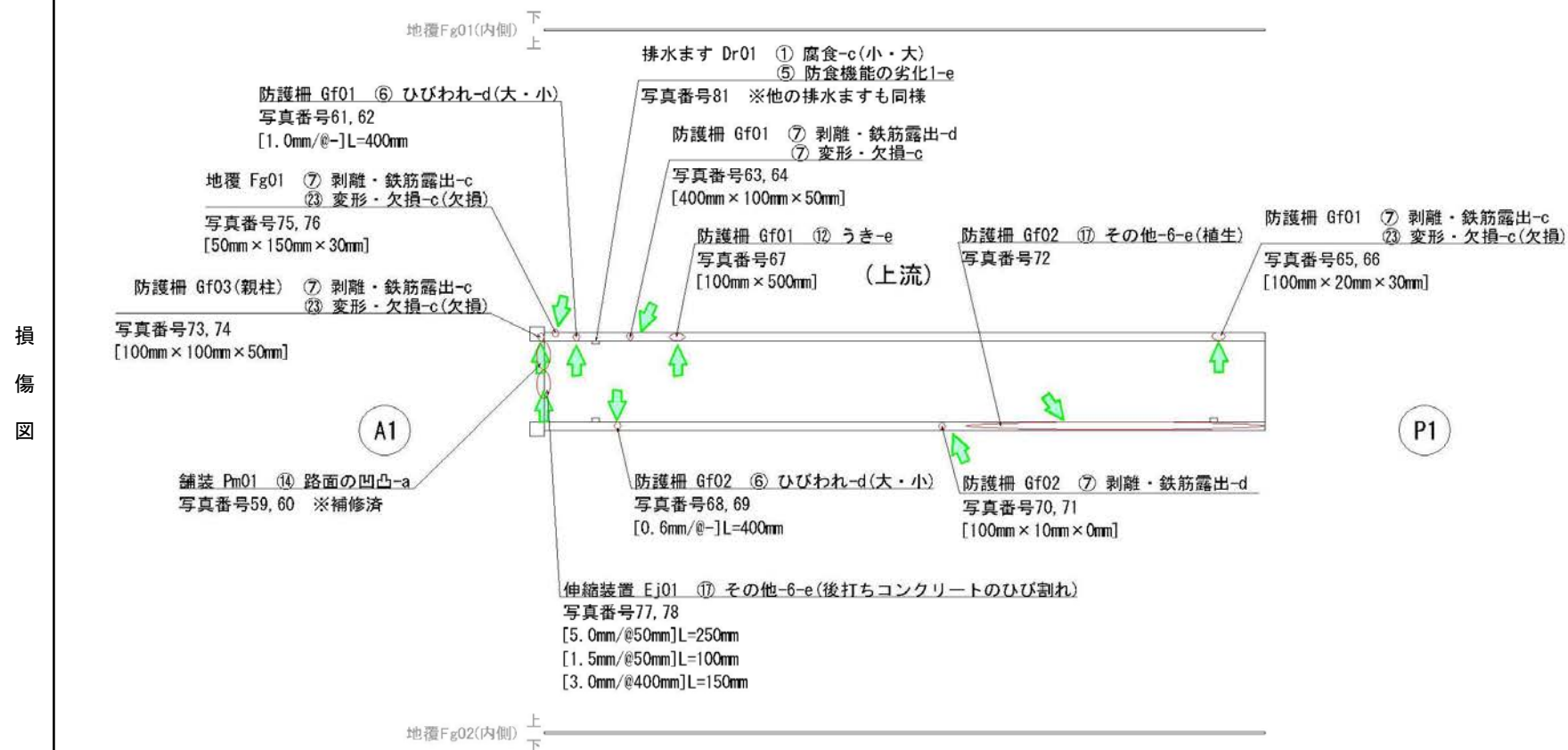


損
傷
図

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

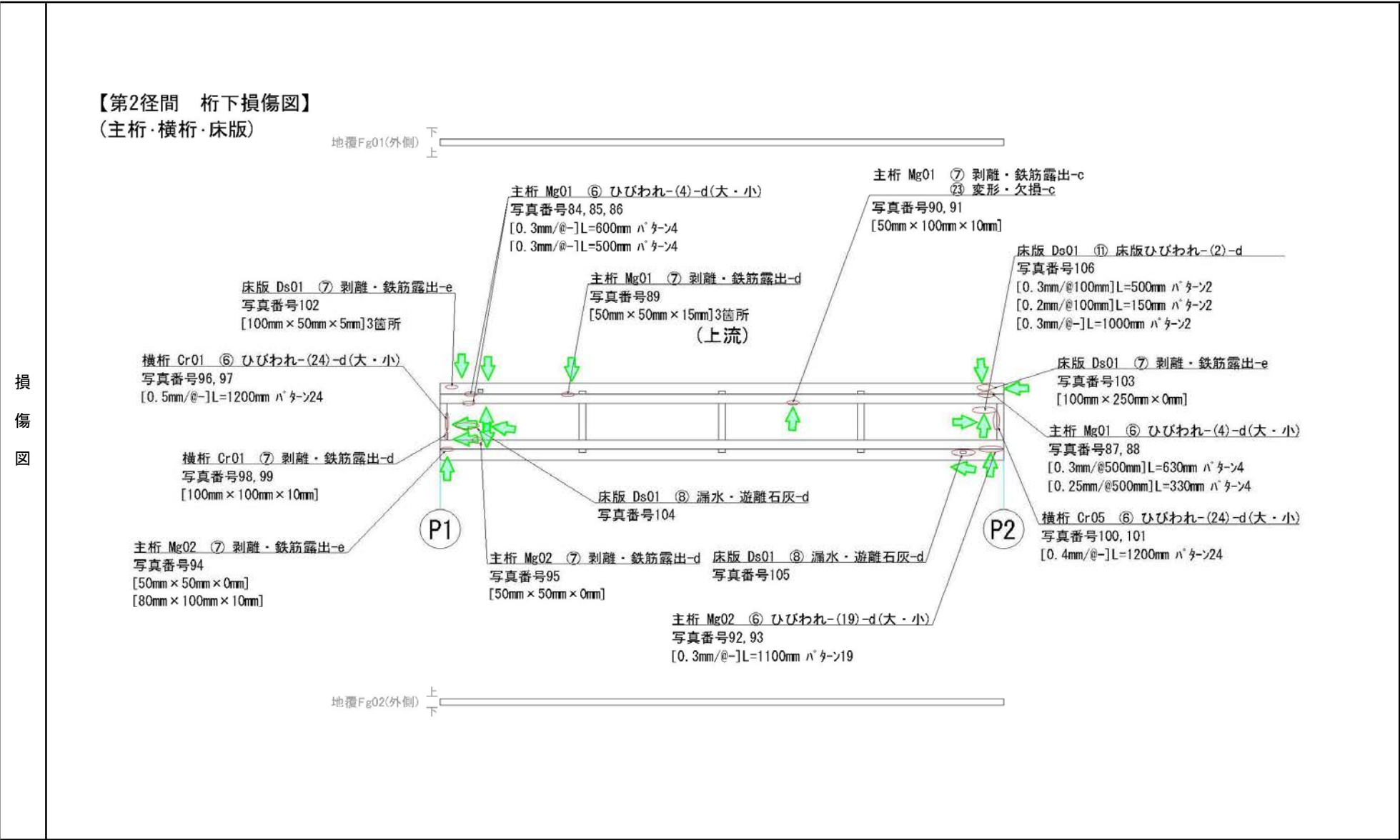
フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

【第1径間 橋面損傷図】



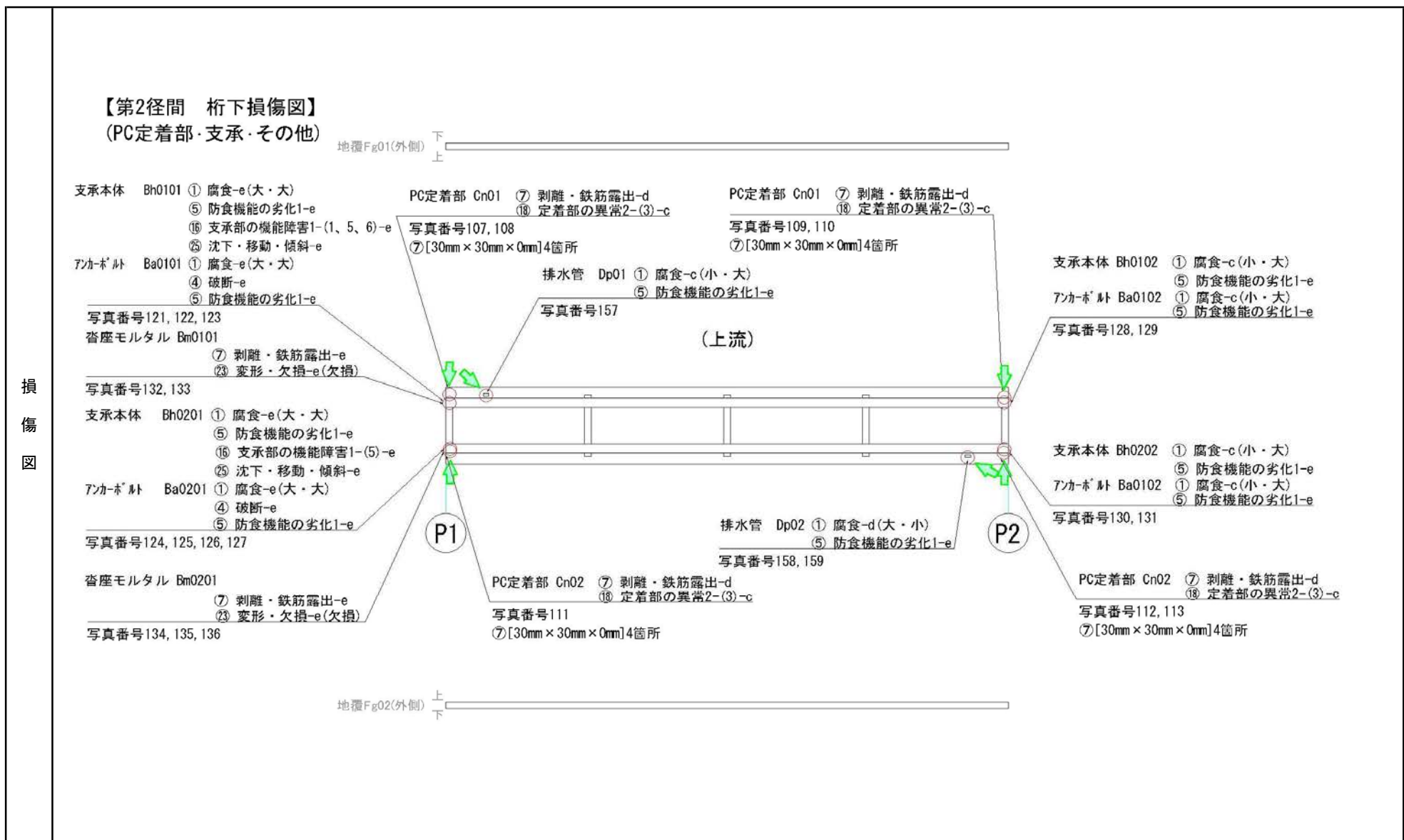
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



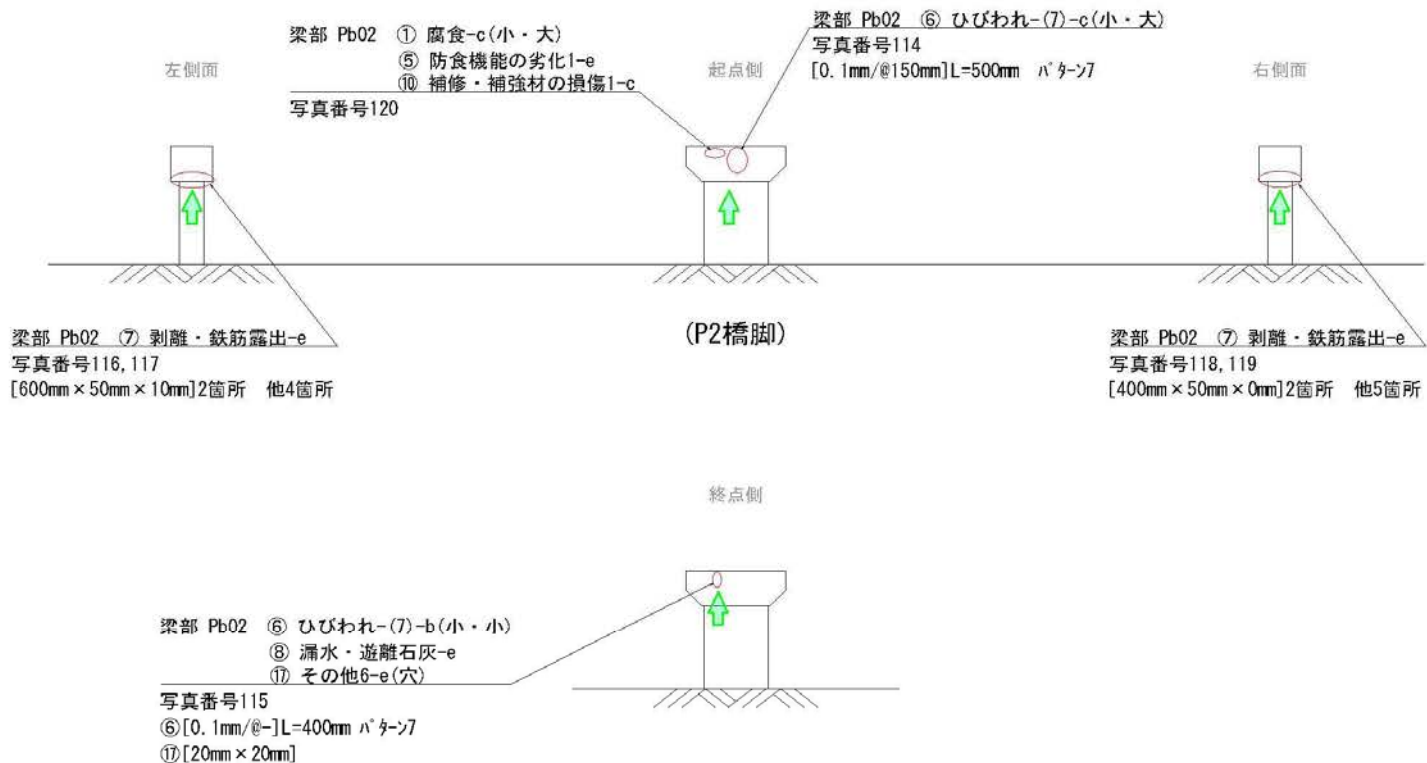
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



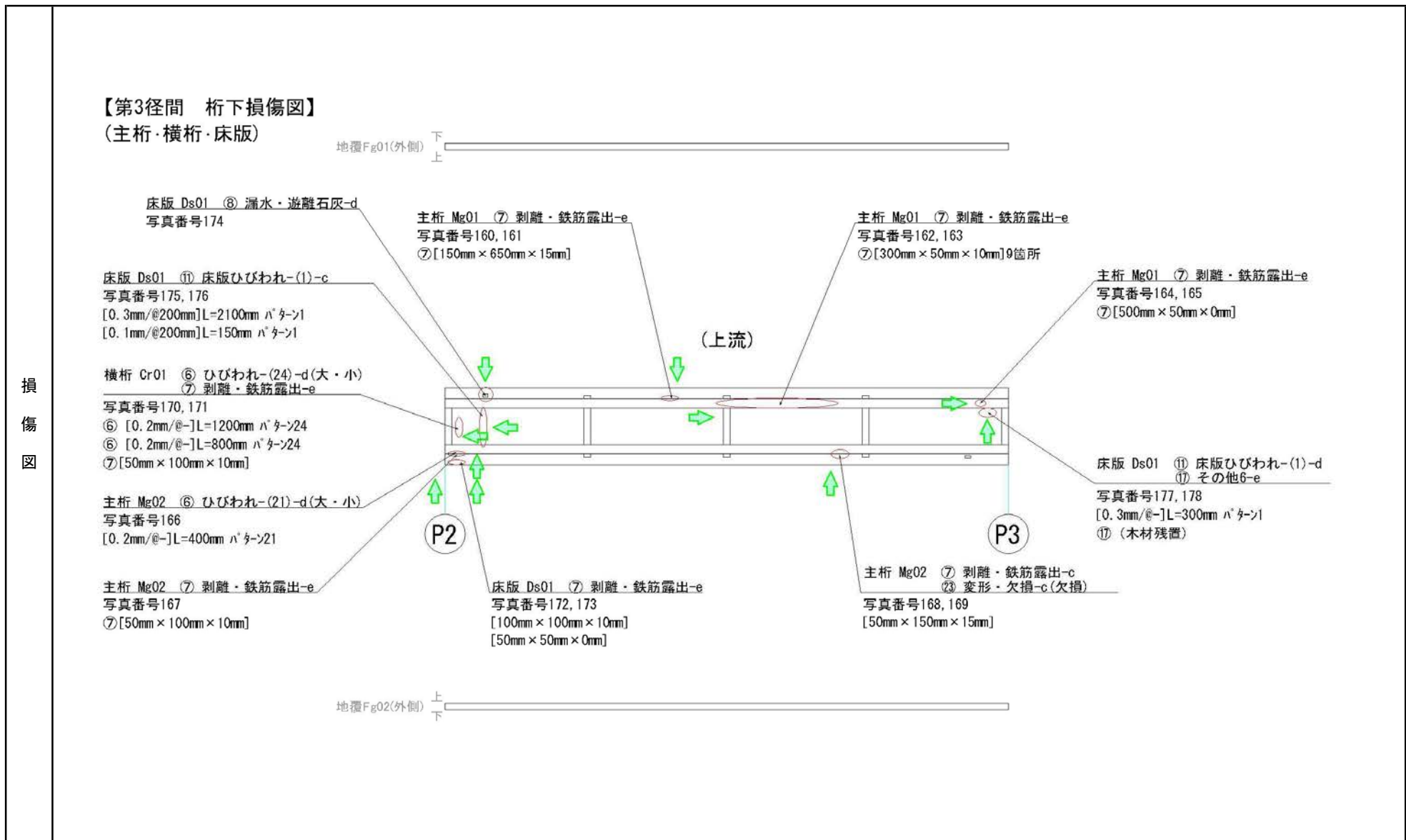
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

【P2橋脚 損傷図】



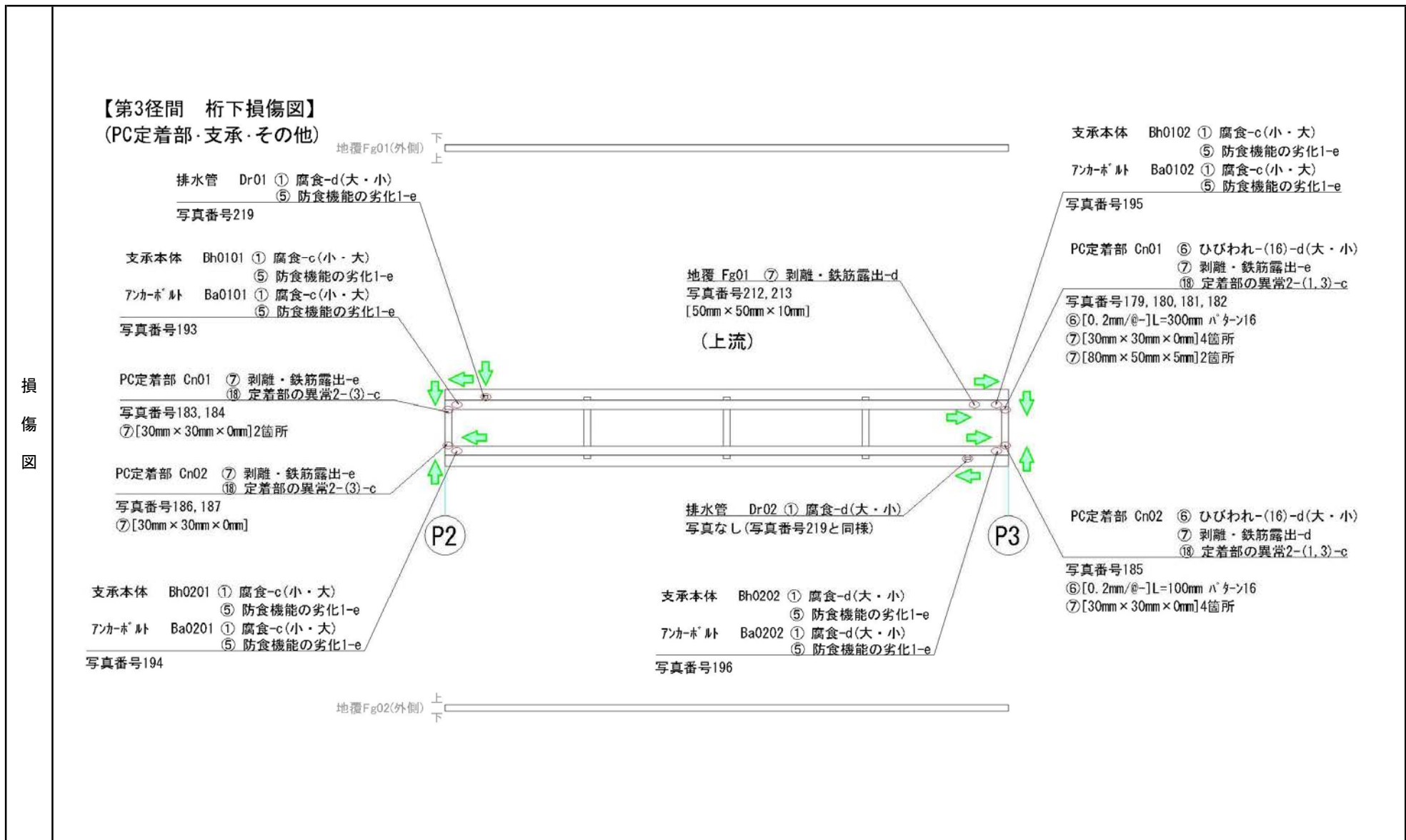
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



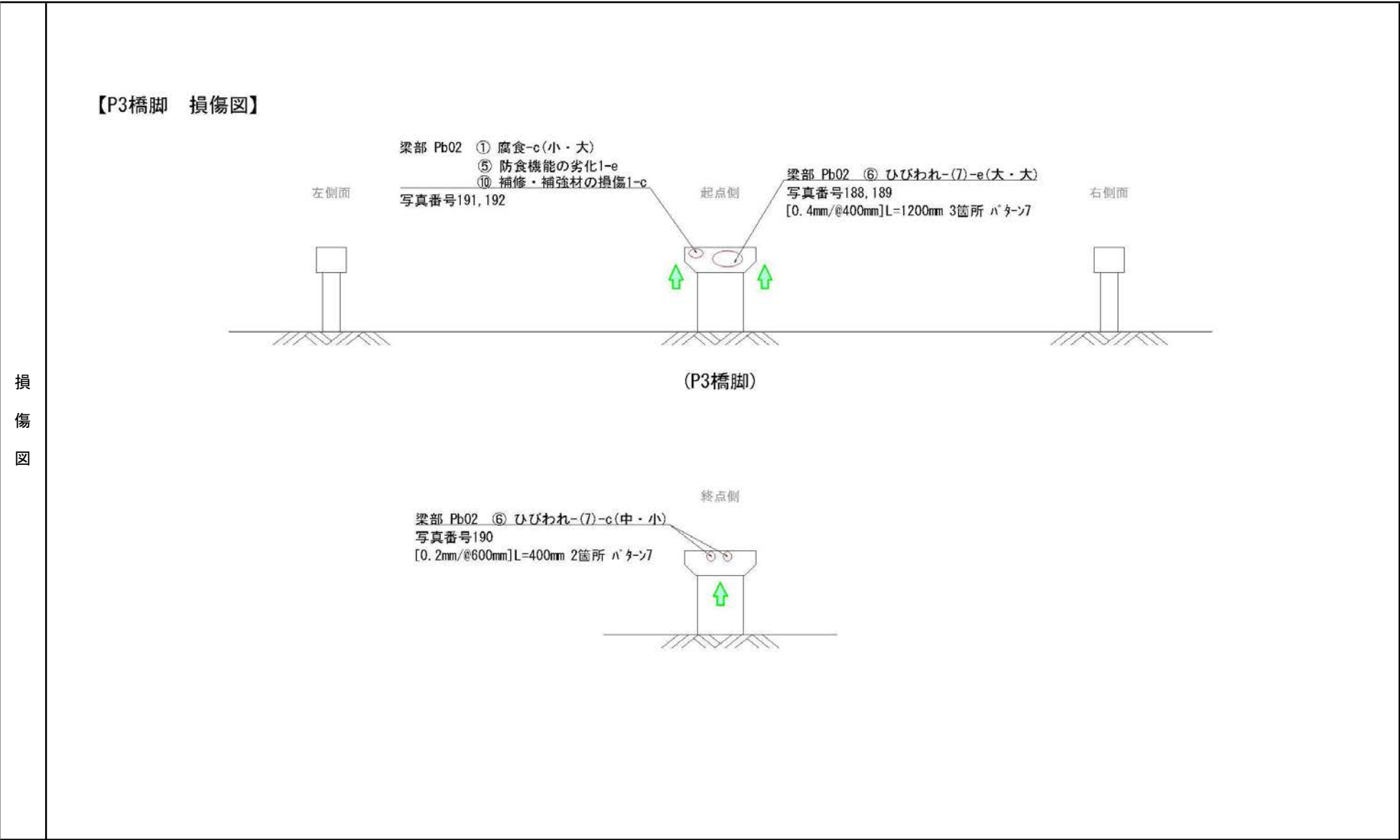
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

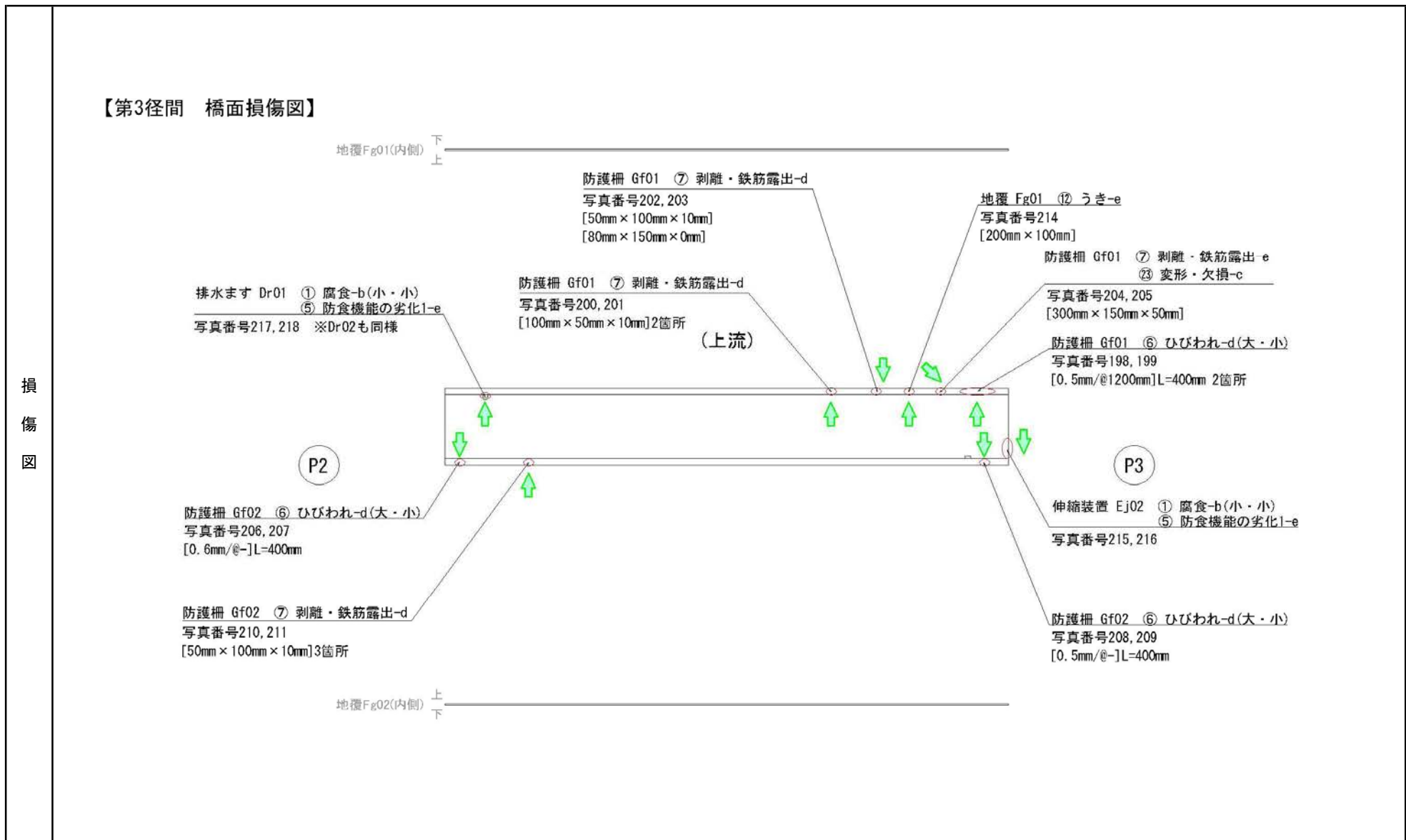
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



損
傷
図

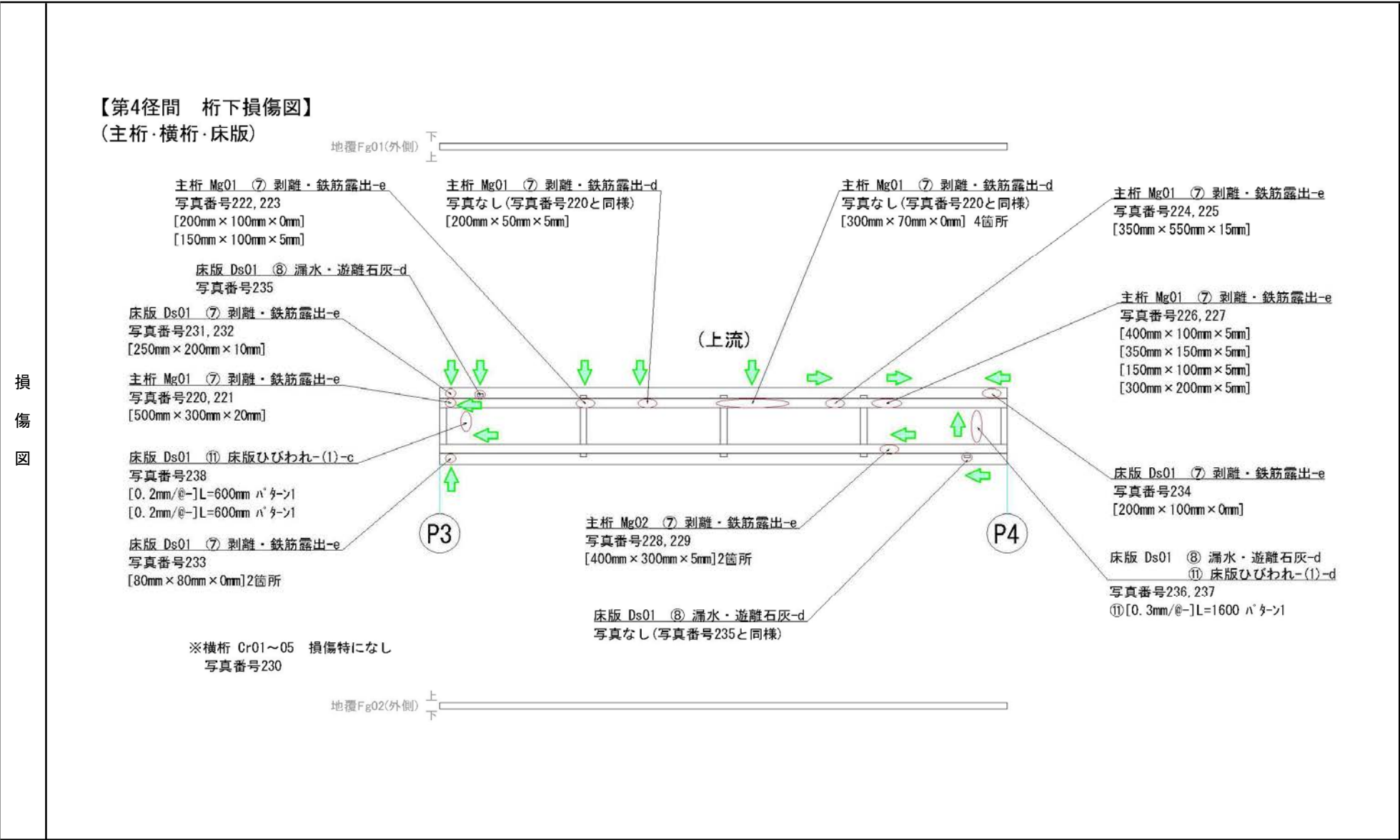
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



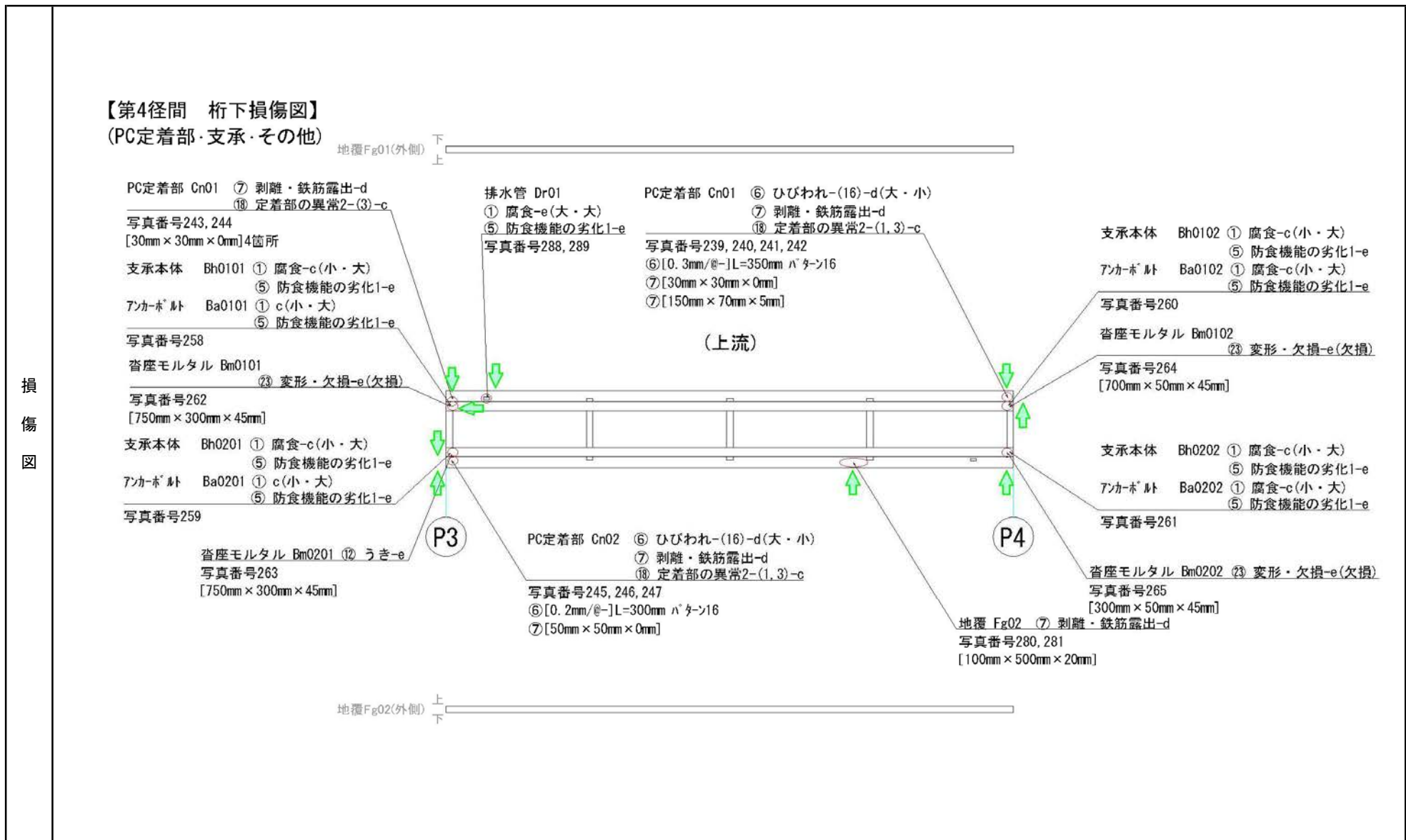
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------



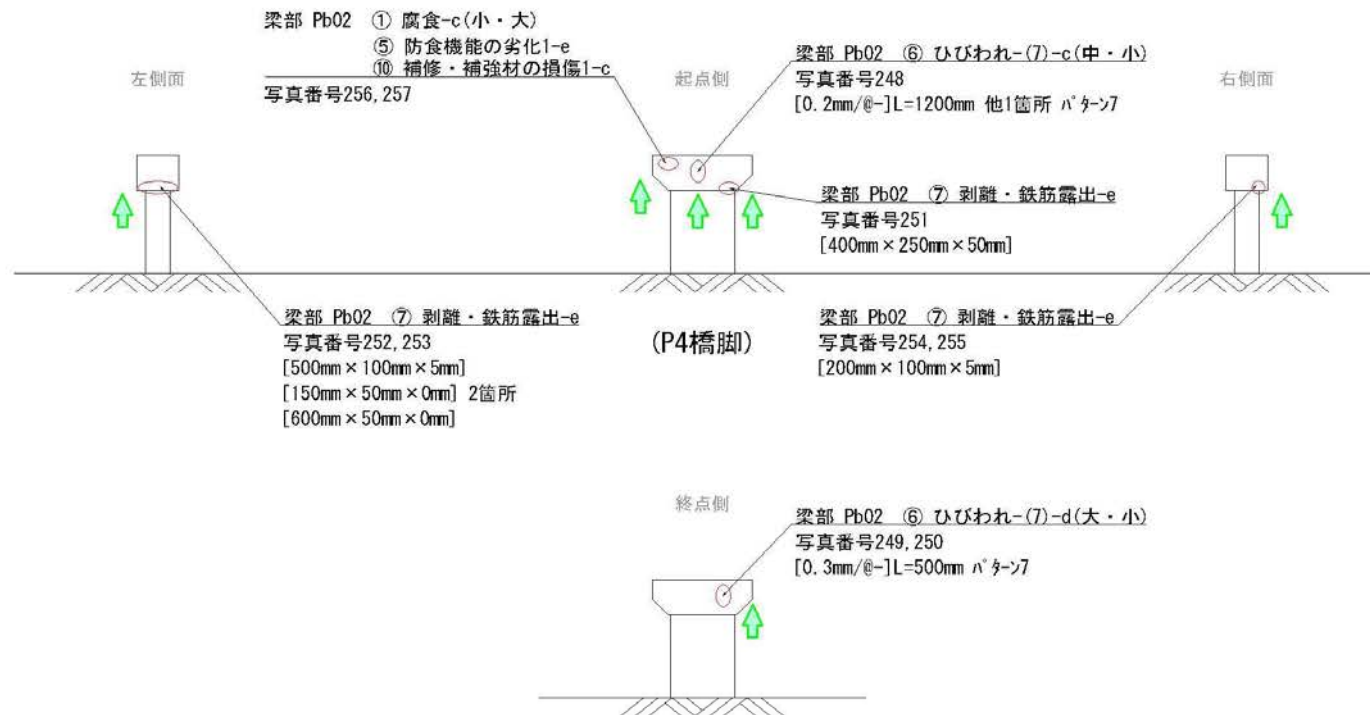
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



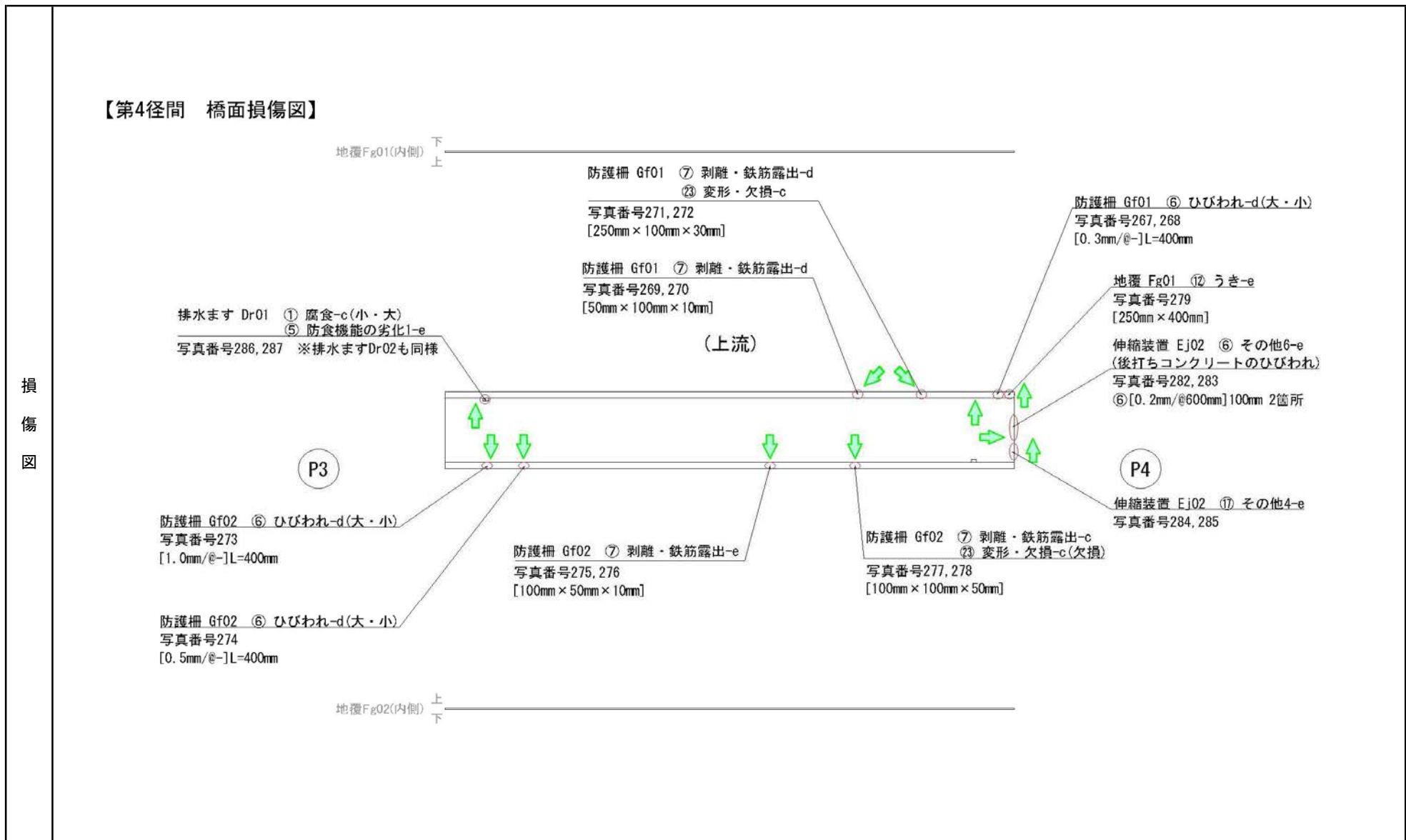
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

損傷図



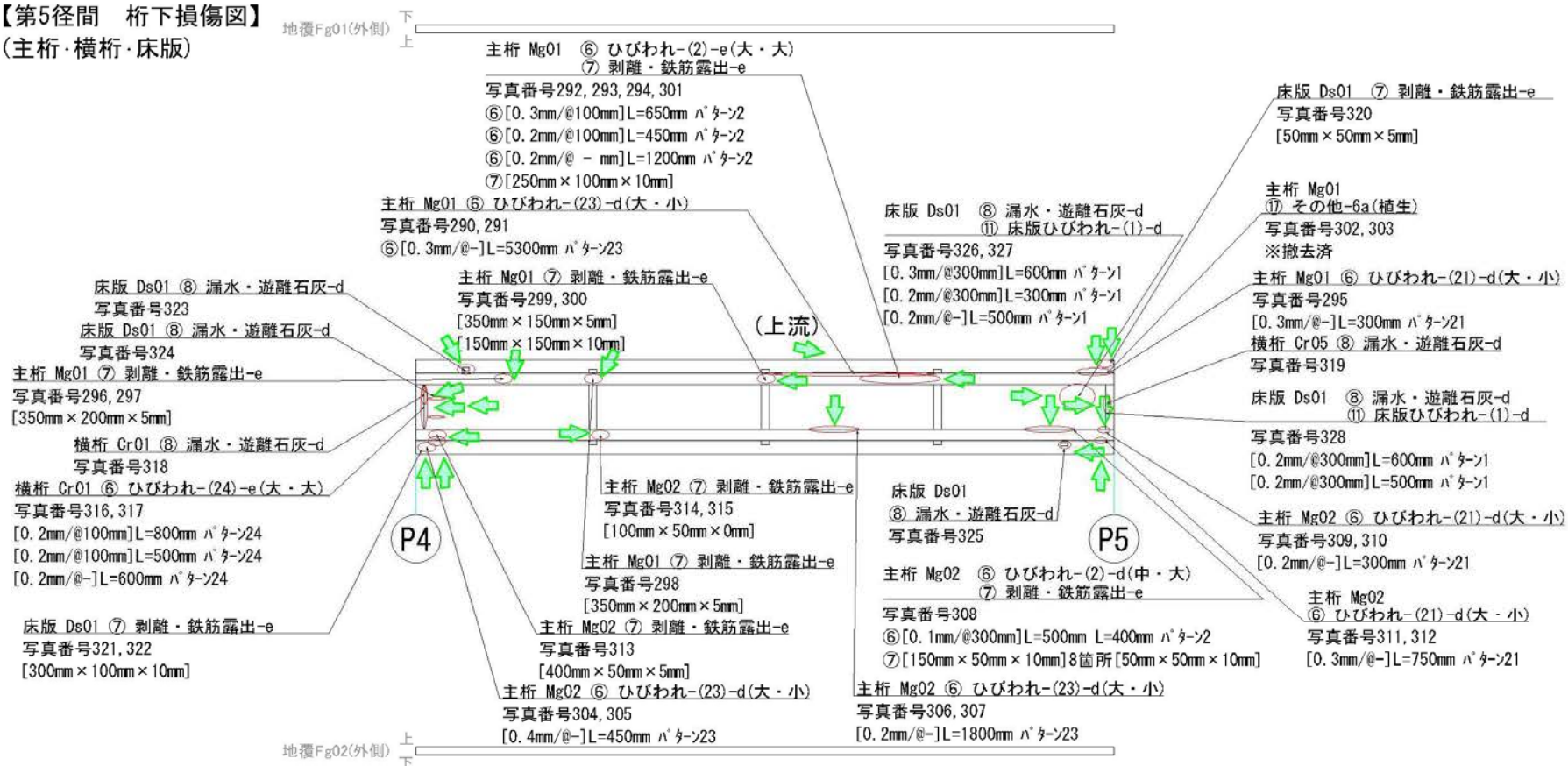
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



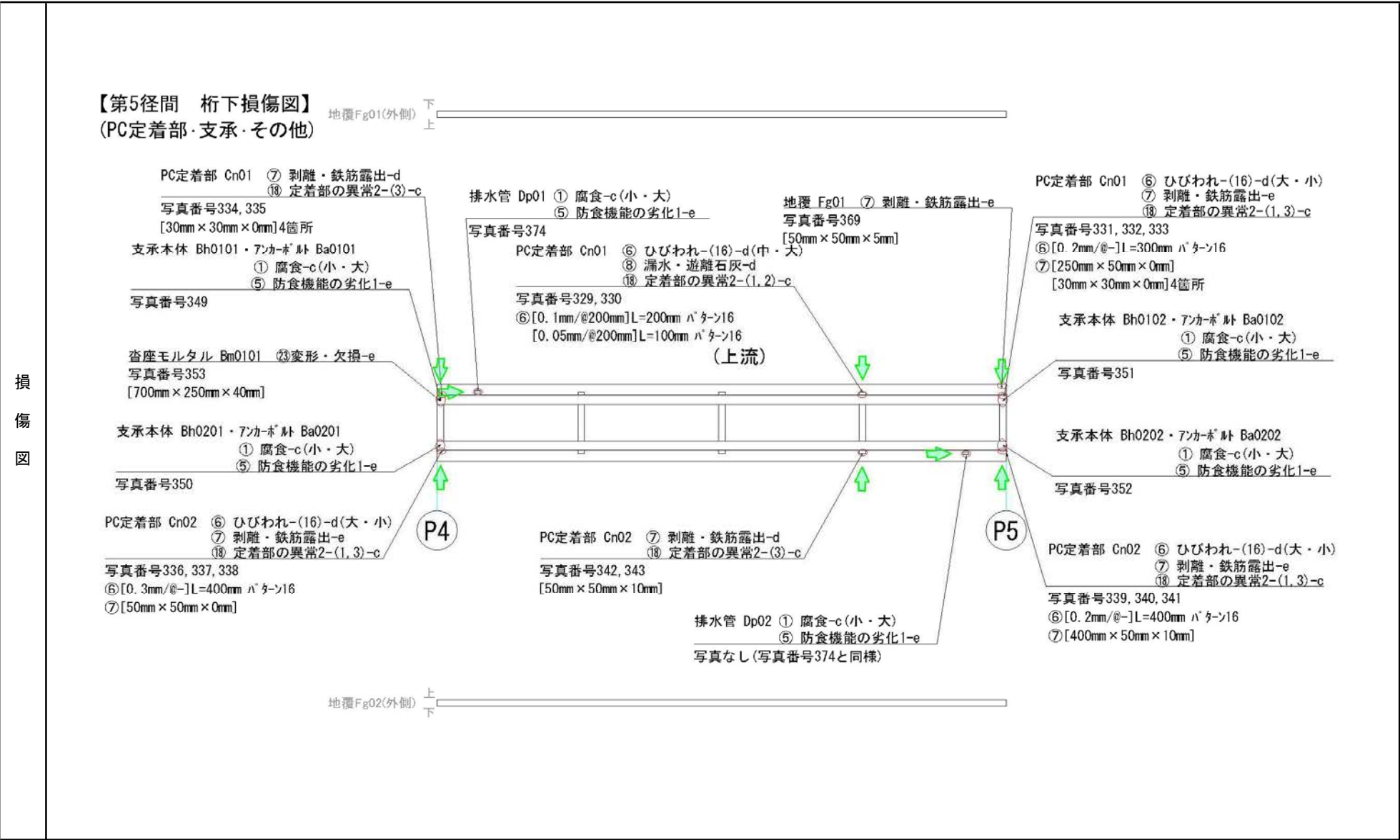
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

【第5径間 桁下損傷図】
(主桁・横桁・床版)



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

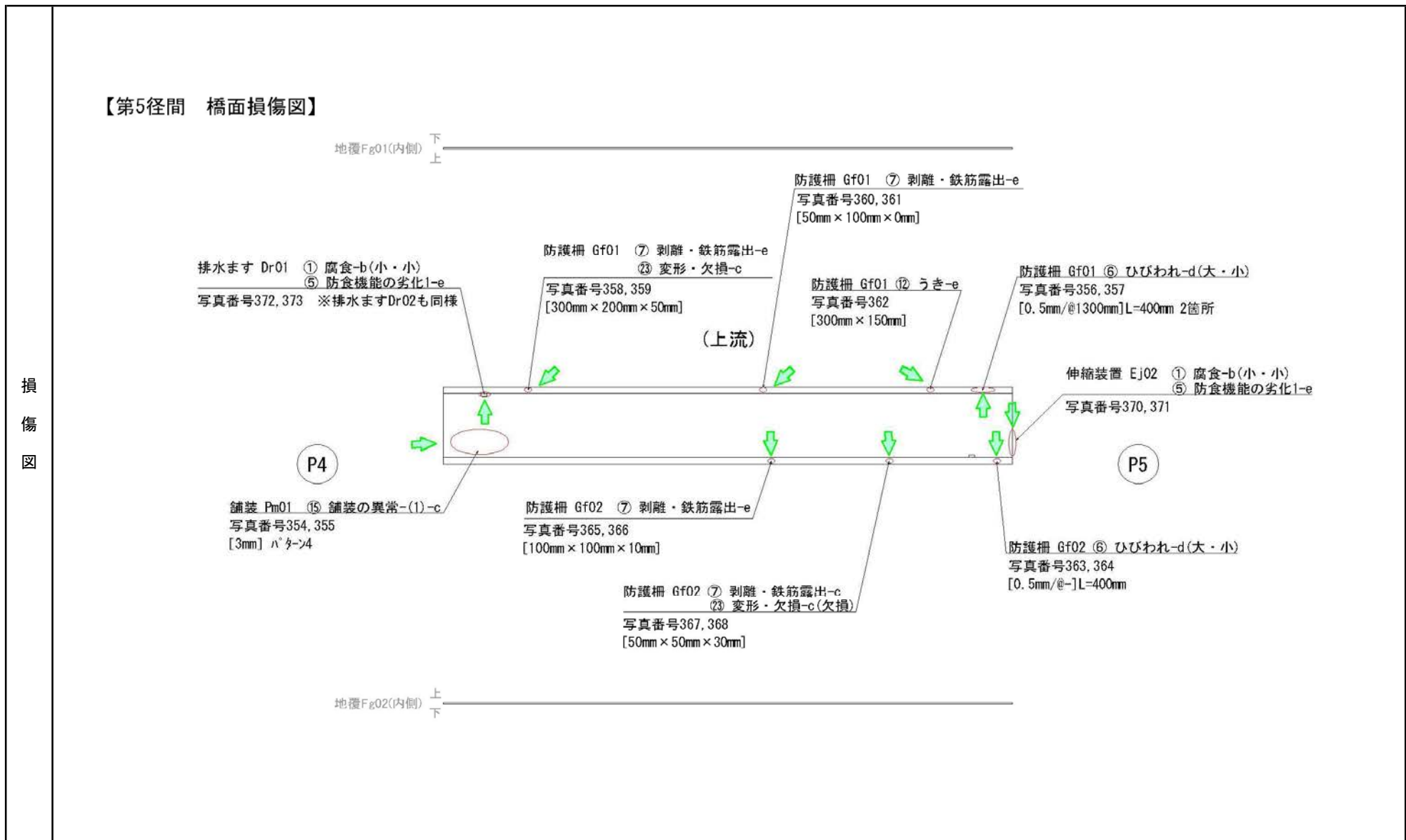


フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

損
傷
図

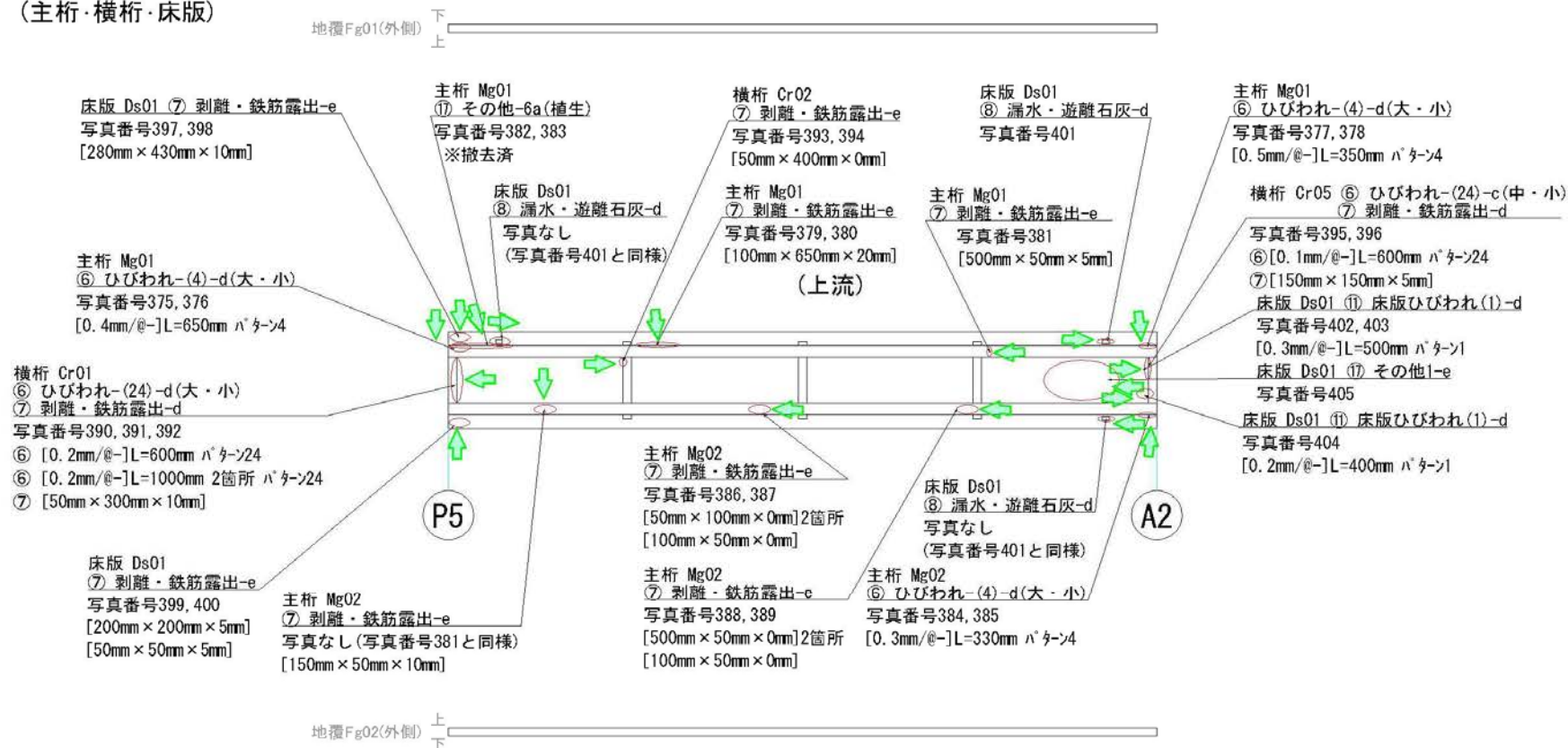
データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



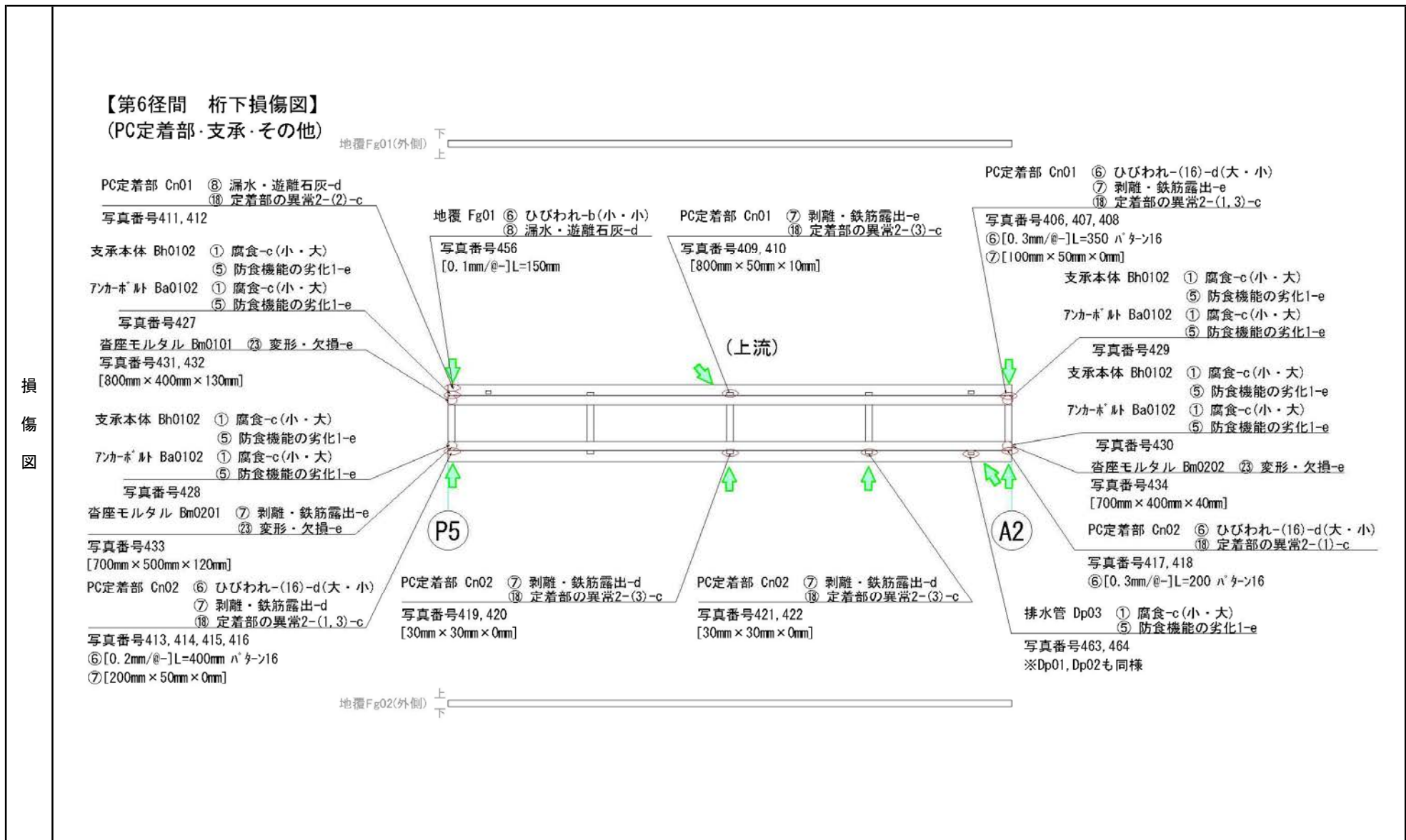
フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

【第6径間 桁下損傷図】
(主桁・横桁・床版)



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

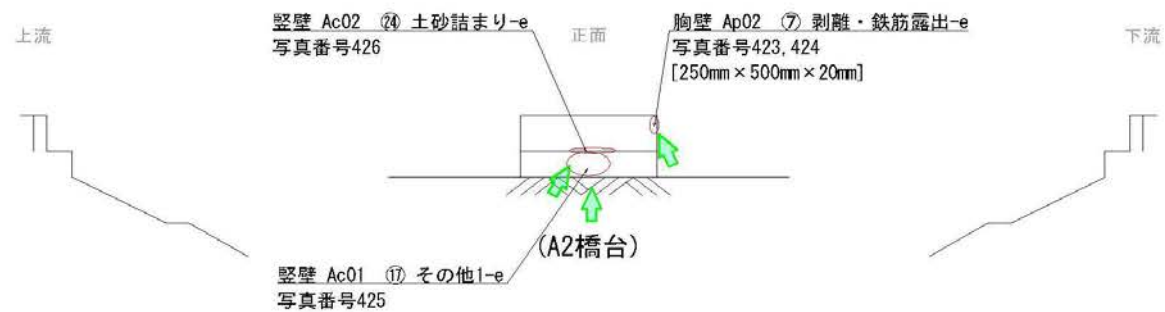
フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

【A2橋台 損傷図】

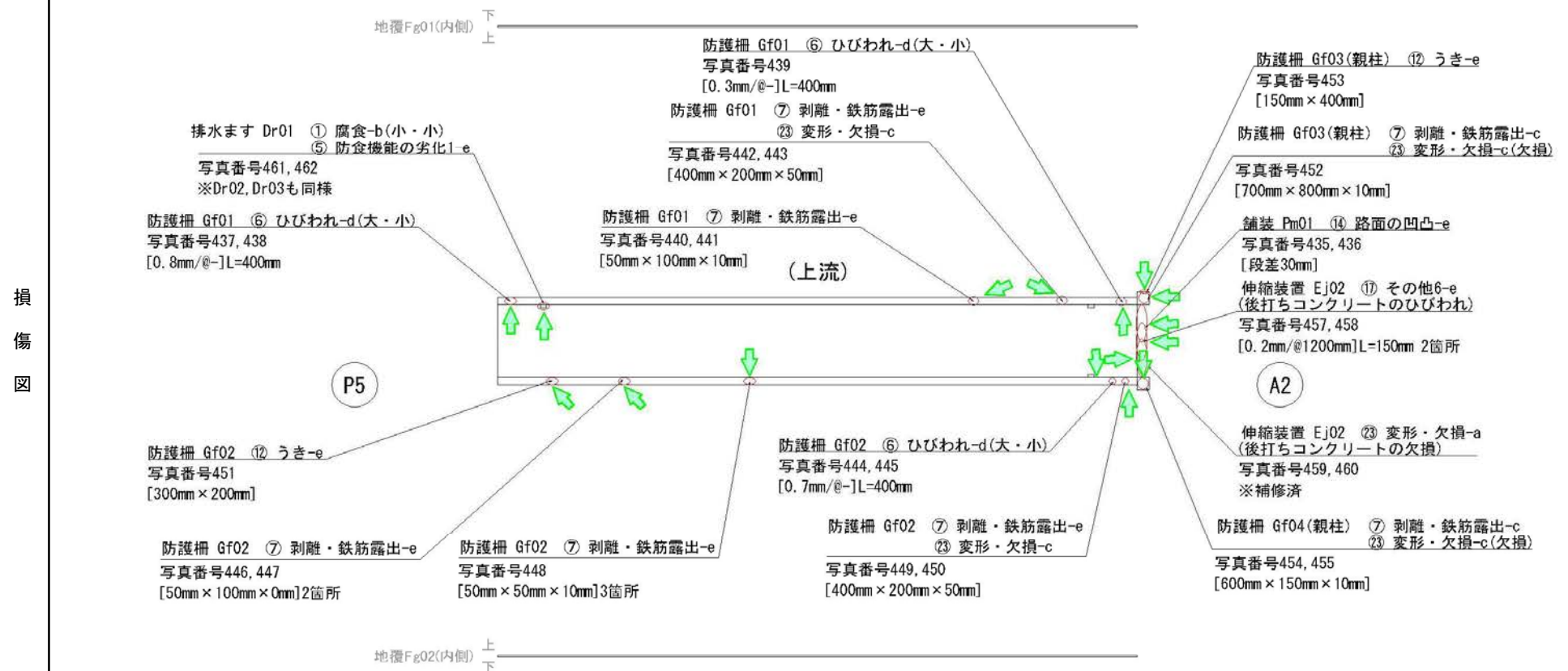


損傷図

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
-------------	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	------------------

【第6径間 橋面損傷図】



損
傷
図